

522
23
176



始





Miss Ellen Terry as Mistress Page, Sir Herbert Tree as Falstaff,
and Mrs. Kendal as Mistress Ford

"The Merry Wives of Windsor" Act III. Scene III.

From the painting by the Hon. John Collier



ウインツアの
陽子のちめり

坪内逍遙譯

大正

15. 5. 28

内交



From the painting by El. Grützner.

Photo: Berlin Photographic Co., London.

Falstaff ("The Merry Wives of Windsor.")

Falstaff "Mysif, and skirled page." Act I, Sc. III.

522-176
~~551-138~~

緒言

フォールスタッフは、沙翁が喜劇的人物中で、真に古今に等倫を絶したものと稱讚された傑作であるのだが、女王エリザベスは、之を『ヘンリー四世』の劇で観て、深く興じ、戀愛事件に於ける同じ人物を主題として、更に一作を書けと作者に特命した結果、沙翁が二週間に頓作したのが此作だと言ひ傳へられる。其言ひ傳への真否はともかくも

として、此作には種々の特徴がある。

先づ、此作は、沙翁の喜劇中では、むしろ笑劇コメディに属せしむべきものではあるが、『から騒ぎ』や『末よきはすべてよし』や『エニスの商人』や『以尺報尺』などは違つて、純粹に滑稽的で、少しも悲劇要素を混入させてゐない點に特色がある。次ぎに、出て来る人物の殆ど悉くが當時の英國の中國階級であり、地方人である點に、他の作に見る以外の風俗史的興味がある。第三には、急作である爲か、或はまた特に寫生的に書かうといふ底意でもあつたか——沙翁の他の作には無いとだが——殆ど全部が散文で書かれてあ

る。それから——嫉妬深い亭主の行動に關する筋の些末な一端だけは、例の如く、イタリー小説から導かれたものらしいが——それを除くと、筋立も、人物も、悉皆作者の創意から成つてゐるらしい點に特色がある。最後に、實演すべき劇としては、今日なほ相當の人氣があり、俳優其人を得れば、立派に成功もする作である。といふのは、作者の技が専門家的に圓熟し、筆に油の乗つた時の作であるから、脚色が頗る巧みに出來てゐる。總體に生氣が満ち満ちちとしてゐて、無駄が無く、セリフの受け渡しにもたるみがなく、筋の運びが早く、イゴキが十分で、人物の出入りに

も無理がない。勿論、大體が笑劇式だから、ところ／＼曾
私の屋のそれに類する到底實際にはありさうもない馬
鹿げた件もあるが、又急作のせむか、前後矛盾の箇所もあ
り、手抜けもあり、どうしても讀みこなせないやうな變な
句もあり、又今日の好尚テイストからは、やゝ卑陋過ぎる文句なぞ
もあるが、いかにも一氣呵成らしく、書き方が青天白日式
で、洒脱であり陽氣であつて、此作者特有の例の健全な倫
理的調子が全篇を一貫してゐるから、讀んでも、觀ても氣
持がいい。

そこで、此作の書きおろされたのは、そも／＼いつごろ
であつたらうかといふに、若し果して言ひ傳への如く、エ
リザベス女王が『ヘンリー四世』中のフォールスタッフに感興
を覺えての特命が原もとで書かれたものだとすると、それは、
どうしても、一五九八年以後の事であると假定せねばな
らぬ。何となれば、『ヘンリー四世』の第一部は一五九六
年から同九七年までの間に、また其第二部は一五九七年
から同九八年までの間に書かれたものであり、さうして
後者の閉場詞エンディング中に左の如きことが書き添へられてあるか
らである。

「尙一言申し添へます。脂肪澤山の肉(フォールスタッフを指すに、まだお腰き果て遊ばしたわけでございませんなら、作者は、もう少し士爵^サジョンの話をつゞけまして、フランスの王女カサリン姫に關する面白い筋を御覽に入れたいと申してをります。フランスへ参りまして、フォールスタッフは大汗の爲に命を失ひますさうで、尤も御評判次第で、其以前にも絶命いたすでございませうが。」云々。

ところが、一五九九年に書かれた『ヘンリー五世』では、もうフォールスタッフは死んだ事になつてゐる。よつて考へ

るに、『ウィンゾアの陽氣な女房』の書かれたのは、『ヘンリー五世』と同時か、或はその少し前ではあるまいか？ 一六〇一年には、此作の外題が、もう既に例のロンドンの文房^{ステーション}具商^{ヨナ}の帳簿に上つてゐる。して見ると、其脱稿はいよゝゝ以て一五九九年頃であるらしく思はれる。二週間の頓作といふとは、速筆で知られてゐた沙翁としては、別に異とするに足らぬ事ではあるが、一つは、早晚何等かの脚色で、もう一度フォールスタッフを活躍させようといふ腹案があつたのだから——「戀愛に於ける」といふ詠へを出されたのは迷惑でもあつたらうが——全くの不準備ではなく、隨

つて筆の運びが一層速かでもあつたのだらう。しかし又それが爲に、『ヘンリー五世』の第二幕、第三場で、女主人ククリーをして、最初の腹案を裏切つて、フォールスタッフの死を報ぜしめざるを得なくなつたのでもあらう。

此作の書きおろしを一五九九年頃と推斷すべき理由は、穿鑿すれば、なほ他にも幾らかある。第五幕の末段で、作中の男女老幼が種々の妖精に假装して、いはゞ喜歌劇式に登場する件があるが、その妖精中の一人が長々と行在所ウインゾア城の善美を稱し、暗に時の君主への讃辭を陳べてゐるが、ちやうど一五九九年頃、エリザベス女王が

右のウインゾア城に滞在してゐたといふから、右の讃辭は女王へ宛てたものだらうといふ事である。又、この作中の一人物に地方の治安裁判所判事シャロートといふのがあつて、其家代々の紋章が *luc* (ルイス) (鯉魚) であるのを *louse* (虱) と地口からせて嘲弄してある處から、此人物は、多分、青年時の作者を、例の鹿を盗んだ一件で、手ひどく懲罰したと言ひ傳へられるチャールコート爵士トマス・ル、イ、シ、トを復讐的に漫畫化して嘲弄したのであらうといふ説がある。假に此臆説が當つてゐるとすると、當のルーシーがもう既に死んでしまつてゐては、此諷刺が何の變哲もないものにな

るから、恐らくルーシーが存生中に書かれたものであらうといふのである。ルーシーは一六〇〇年の七月に死んでゐる。

最初の刊行は一六〇二年の四折本^{クォーター}で、其題扉に録された表題は左の如くであつた。

「士爵^サジョン・フォールスタッフとウインゾアの陽氣な女房達に關する極めて愉快、極めて巧妙なる構想の悲劇。ウエルズの勳士^{カニグ}、サー・ヒュー、判事シャロー並びに其賢明なる従弟スレンダー君のそれ／＼異なるれ

るをかしき氣分をも、又旗持^{アッシュェント}ピストル、伍長ニムの大言壯語をも取りまじへたり。ウイリヤム・シエークスビヤ作^リ。

なほ其次ぎに、

「ロオド・チェンバレイン(内大臣)閣下の御家來衆によりて、女王陛下の御前にて、又その他の場所にて數回上演せられしものをその儘。ロンドン。アーサー・ジョンソンの爲に、印刷、云々。一六〇二年。」

其再版は一六一九年であつた。右の四折本^{クォーター}を土臺として、幕や場を一々分け、さうして多少の補充を加へたも

のが、例の一六二三年の作者死後出版の全集に收められた、さうしてそれが普通に此作の定本と見做されてゐるわけだが、果して此等諸版が正しい稿本にもとづいたものか否かは今なほ疑問とされてゐる。例へば、前記表題中に「ウーエルズの勳士爵サー・ヒュー」といふ句があるが、此人物は牧師の村學究であつて、武官ではないから、勳士爵と稱すべきでない。當時ヒューは、一方、武士の爵號であつたと同時に、現時の學士號などに相當する學位でもあつた。作者は、ヒューに對しては、明かに其意味で使用してゐる。此一つの間違ひだけによつても、一六〇二年の出版は、作

者の校閲を経てゐないことが分るやうだ。恐らく、其頃しばしば行はれた不正書肆の剽窃出版であつたのであらう。

一六三〇年には、更に前記の補充本を底本として、新四折本フオリオが刊行され、其後また第二の二折本フオリオも出たが、それらの事は、くたくしいから、今は省く。

さて上演史だが、一六〇二年の第一フオリオの題扉の文句が示す如く、此作は、其書きおろし當時に、女王の御前で又其他の場所で、既に屢上演されたものらしい。しかし

其初演は、果して何年の何月であつたかは明かでない。推測では、一五九九年の冬の末か、春の初めであつたらしく思はれる。それは、本文中に、「リューマチを起し易い季節」とか、「田舎家の爐邊で」とか、「海石炭」とか、「小鳥狩」とか、「Jack-a-Lent」(復活祭前四旬齋に使用する人形)とかいふ事が人物に言はせてあるので以て推定される。

なほ右の外にも、作者の在世中に上演があつたか否かは慥かでない。一説に、當時の宮廷餘興録中に「一六〇四年陛下の俳優によりて宮中にて上演、云々」の記事があるともいふが、それは後人の僞文だとする反對説もあつて

不明である。しかし一六三八年に、時の王並びに王妃の御前で上演したといふ信すべき記録があるといふ。また一六六〇年にも、例のペビーの日記ダイアリーによれば、其十二月に上演されたらしく、左の如き記事がある。

「正餐ディナーの後、予はニュー・シャターに往きて「ウインゾアの陽氣な女房」を観る。田舎紳士と佛人の醫師との滑稽は頗る善く演ぜられたるが、其他は甚だ不出來、而うして士爵フォールスタッフは其他の役々同様にまづし。」

ペビーは此喜劇を更にまた二回観たことを録してゐ

るが、賞めてはゐない。「不出來、少しも予を樂まざる」云々と書いてゐる。

一七〇六年の上演では、主役のフォールスタッフを名優のペタートンが勤めてゐる。之より先き、一七〇二年にはドリュリーレーンで、此作の翻案が「道化た色男、一名、士爵」ジョン・フォールスタッフの戀愛」の外題下に上場されたが、不成功で、其脚本は其時限り、復演されなかつた。登場人物は、ほゞ原作通りであつたといふが、フォードの妻の弟で牡牛館の亭主といふのが一人加はり、後家クイクリーの穴を「ヘンリー四世」第二部で知名のドール・チャシートといふ賣

笑婦が老後の姿で働いてをり、又フエントンの役柄が原作よりは重要にせられ、ページの妻が第三幕で男の姿に假装するなぞといふ件が挿加されてあつたといふ。

其次ぎは一七二〇年のリンコンスフィールドに於ける復演である。此時は相應の成功であつたので、爾來此劇が沙翁作中の人氣ある劇の一つとなり、十八世紀の前半中には名優クインがフォールスタッフを專賣物にして繰返し上演した。其他 Delane, Stephens, Howard, Love, Berry, Shuter, Henderson, Palmer, Kean, Cooke, 等、いづれも、フォールスタッフとして多少の成功を収めてゐた。フォールスタッフの外では、男性の役中で目

ぼしいのは、焼餅やきの亭主フォード、又儲け役は田舎牧師エヴンス、田舎の若紳士スレンダー、ガーター館の亭主などであつた。女主人公役のフォードの妻で當てた十八世紀の女優は、先づ、ウオフィングトン夫人、ブリッチャード夫人などを擧ぐべきであらう。

十九世紀に入つては、一八〇四年四月のコゼント・ガーズンの劇場で、名優ジョン・ケンブルが焼餅やきの亭主に扮して登場したことが注意すべきであらう。其次ぎの上演は一八四八年三月のサドラーズ・ウエルの沙翁劇復活興行で、フォールスタッフは總監督のフルブスが演じた。併しな

がら、全體としての此劇の上乗の出来は一八七五年のゲイチャー・シャターに於ける同じ人のフォールスタッフ、テラーのスレンダー、シルの佛人醫師、ライトンの牧師エヴンス、エジンの焼餅やき、フォブス・ロバトスンの若紳士フエントン、ウッド夫人のページの妻、ローズ *Leclercq* 嬢のフォードの妻、*Furtado* 嬢のアン・ページであつたらうと、サー・ヘンリー・アーギングは言つてゐる。此際には、第五幕(大詰)の獵林内の場へ新たに唱歌を書き加へて演じたが、其歌詞はアージャーノン・スキンバーンが書き、アーサー・サリヴンが作曲し、可憐な *Miss Furtado* がみづから歌つたさうだ。最近の上演では、一九〇二年のツリーのフォール

スタッフ、エレン・テリーのフォードの妻が最も有名である。

此劇の筋は、本文の譯に添へて、例の如く原作には無いトガキを特に豊かに書き加へておいたから、敢てくたくしく語らないでも、讀むにつれて、事件の経緯も、人物の性格及び其相互間の關係も、おのづから解るではあらうと思ふが、もと此作の興味の幾部分は——譬へば、『江の島土産』や『宮島詣』や『木曾道中』等が『東海道中膝栗毛』の豫備知識に依つて其存在理由を得たがやうに——『ヘンリー四世』中に現はれてゐるフォールスタッフの性格及び行動を聯想

する所に存すべきであり、又しかあるべきを豫想して書かれたものである以上、本作を讀む人達は、是非先づ『ヘンリー四世』の第一部及び第二部を一讀過する必要がある。といふのは、主人公のフォールスタッフが、其ビール樽の化け物然たる生理的特質を其性格の大體と共に、此作へ持ち越してゐるは勿論の事だが、其部下の無頼漢、空威張屋のピストル、鼻赤のバードルフ、田舎の老判事シャロー、お饒舌の女主クイックリーなぞまでが、いづれも『ヘンリー四世』中に出た人物としての由緒を留めて活動してゐるからである。しかし女王の誂へに應じなければならなかつたのと急

作との爲に、さすがの沙翁もフォーリスタッフを十分意の如くに書きこなすことが出来なかつたらしく、『ヘンリー四世』中に現はれた彼れに比べると、性格としての複雑な深みが全く薄れて、頗る單純な笑劇的人物となつてしまつてゐる。史劇に現はれた彼れは、皮肉な、翻弄的な、當意即妙の機智に富んだ、どう追ッ詰められても窮するといふとのない、飽迄も圖々しい、己惚れの強い、卑劣な、けれども不思議な愛嬌があつて、憎みばなしにすることの出来ない人物に出来てゐるのだが、此作では、甘い、淺俗な惡黨たるに過ぎないものとなり、「脳味噌が干乾しにでもなつた

か」機智縦横であつた以前の影は極微かになつてゐる。で、此作では、むしろ他の人物のはうに一層重きを置くべきである。といつても、全體が笑劇式に書かれてあるから、どの人物にも、ある著しい外面的特質はあるが、個性としての、深刻味のないとは是非に及ばぬとせねばならぬ。けれども尙さすがにわが俄か式の笑劇なぞに比べると、品位が高く、どの人物にも相應の興味が伴ふ。中にも、田舎牧師のエヴンス、田舎の若紳士で低能の癖に虚榮家であるスレンダールの如きは、多少のモデルがあつて書かれたかとも思はれ、いかにも生きくしてゐる。十八世紀

の學者的劇評家であつたハズリットは、特に後者の描寫を激賞して「古來作家多しと雖も、弱ウイークネスを描くと強ストレングスを描くにひとしく偉いなるは唯一人の沙翁あるのみ」といつた。愚劣者を描いて迫神の妙を極めてゐるのを賞したのである。其他、嫉妬家のフォードの如き、其友の常識に富んだ、代表的英國紳士ページの如き、地方判事シャローの如き、フランスの醫師ケイヤスの如き、旅亭ガーター館の亭主の如き、フォールスタッフの部下として此作で初めて紹介される伍長あがりのニムといふ無頼漢の如き、いづれも一たび顔を出した以上、讀者又は觀者をして少くとも其再登場

を或感興を以て期待せしめるだけの特質を備へてゐる。クイックリーの後家としても、『ヘンリー四世』中のそれとは全く別人格となつて現れてゐるが、なほ饒舌性だけを保留してゐて、彼のジュリエットの乳母の再また從いとこ妹程度の間味位ゐは持つてゐる。

此作の興味は、單に以上に止まらない。前段に一寸いつた如く、例の傳説の鹿盜み一件に多少の關係があると思はれる所から、沙翁研究家は、いやでも、一應は目を通さねばならない。それから、本文中に旅館の亭主が其乗馬

を騙取されることがあるが、これはドイツの *Mumpelgart* と
 いふ公爵主従の行爲に關係があるとして注目される。
 右の公爵は一五九三年に英國へ來て、約一ヶ月滞在し、現
 にウインゾアにも數日間ゐたことがあつたといふ。本文
 中の馬を騙つたジャーマン人云々は主として公爵一行の
 行爲を當て込んで書いたものといふ説がある。それは
 ともあれ、當時馬を騙るといふ犯行の屢、あつたことの裏
 書きにはなる。其他、ブレインフォードのブラットといふ老
 女は、其頃實在してゐたギリヤンといふ妖巫ウイッチの當込みで
 あるらしく、或は小鳥狩の遊戯、或は獵師ハーンの幽靈に

關する傳説、謬信など、いづれも風俗史料、風土誌料として
 の價值がある。

大正十五年四月十日

熱海にて

譯者

登場人名

士爵ジョン・フォールスタッフ。

フェントン、地方の若き一紳士。

シャロー、地方の治安裁判所判事。

スレンダト、(名はエブラハム)、シャローの従弟。

フード(名はオランク)

ページ(名はジョージ)

ウィンゾア市に住める二紳士。

ウィリヤム、ページの男、少年。

登場人名

學士^サヒュー・エヴンス、ウエールスの牧師、小學校の先生。

ドクター・ケイヤス、(或はキーズ) フランス人の醫師。

ガーター館の亭主。

バードルフ

ピストル

フォールスタッフの部下。

ニム

ロビン、フォールスタッフの小奴。

シンプル、スレンダールの従僕。

ロゲビー、醫師ケイヤスの僕。

フォードの妻(名はアリス)。

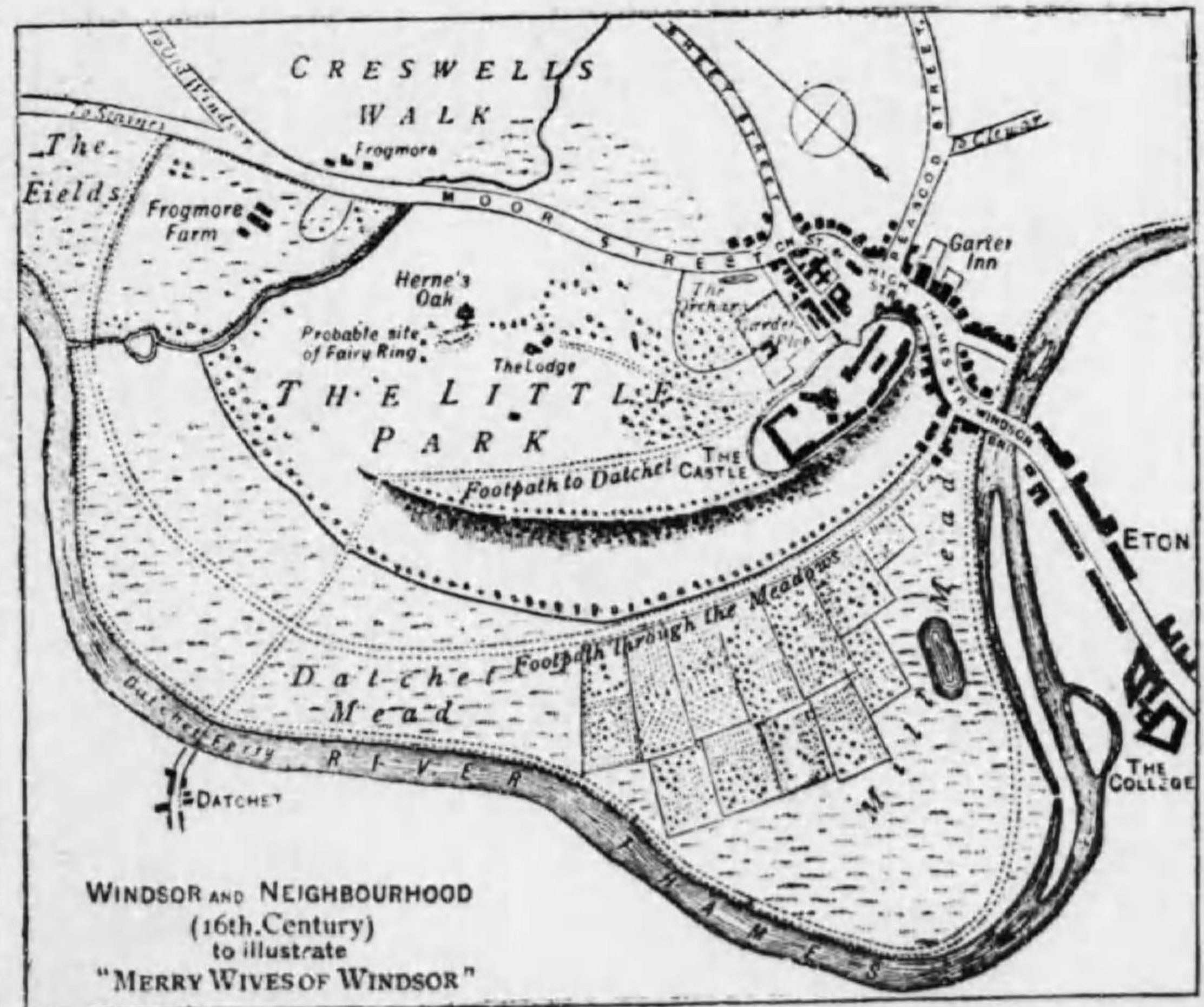
ページの妻(名はマーガレット)。

アン・ページ、其女。

クイックリーの後家、醫師ケイヤスの婢。

ページ、フォード、其他の者に仕ふる従者ら。

場處 ウィンゾア及び其附近。



WINDSOR AND NEIGHBOURHOOD
(16th. Century)
to illustrate
"MERRY WIVES OF WINDSOR"

ウィンゾアの陽氣な女房

第一幕

第一場 ウィンゾア。ページの家の前。

地方の治安裁判所判事 シヤローと
 其從弟の スレンダーといふ若紳士
 とウエールズの 牧師學士ヒュー・エヴン
 スといふ村學究が出る。判事は
 八十餘歳、物體ぶつた、武骨な、無學
 な地方官。エヴンスは小學先生學



者ぶつてむづかしい言葉を使ふが、訛りだらけ。スレンダーは其名通りの瘦つぼち、資産家の相続人判事以上の見榮坊で、低能。

シャロ

先生、もうお止めなさるな。星廳沙汰にせにやおきませんわい。たとひ

彼奴が二十人分のフォルスタッフでごわしたつて、手前侮辱されちやをりませんわい、ロバート・シャローは從士格でござすよ。

スレン

グロースター州の治安判事であるです、さうして委員であるです。

シャロ

さうぢや。さうして管理員ぢや。

スレン

さうです。さうして議録員でもあるです。生來の紳士ですよ、先生。楯持と書くです。手形にでも、契約書にでも、アーミヂェロと書くです。

「カストローラム」は「カストス・ロチユローラム」(Custos rotularum、即ち役所の記録類を管理する役)の訛語である。又、「ラトローラム」も同じ

役名を聞き囁つてゐて間違へたので、二者同一であるのだが、判事もスレンダーも無學文盲なので、別稱だと覚えちがへてゐて、業々しく自慢するのである。以下の訛語は右に準じて類推されたい。

シャロ

さうぢや、その通りぢや。而も三百年來さういふ役目を勤めて來たんぢや。

スレン

前々の繼承者たちがそれを勤めて來たばかりでないです、これからの祖先たちもさうするでせう。上被の紋には、やつぱり、十二疋の梭魚(かます)を附けるでせう。

シャロ

ありや古い上被ぢや。

エワン

(早合點して) 古い上被に虱を十二疋は似合つとるですなえ。とても折合ひがえい。ありや人間に親みの深い動物でありまして、親愛を意味してをるですから。

シャロ 梭は生き魚でござすが、古上被は鹽魚でござすよ。

スレン なんなら、四つ割へ別の紋を附けるとえいですよ。

シャロ そりや出来るね、結婚となりや。

エヴン 缺陷となる？ なるほど、四つ割になりましてはなア。

シャロ なんの、缺陷なんかにはなりやせん！

エヴン いゝえ、なりませんぞ。あなたの上被の四つ割をばあの方がお貰ひになるとする、さすれば、失禮ながら、あなたのお手には、裾が只三つしか残りますまいて。が、ま、そんなことはどうでもよろしい。若し果してジョン・フー・ルスタフどのがあなたを害辱に及んだことが事實でありますれば、自分分は、教會に屬しをる者として、喜んで御兩君の和解や調停に好意を表したいと思つておるであります。

シャロ わしは樞密議官へ直訴します。兇徒嘯集罪でござすから。

エヴン 兇徒嘯集罪をば議官たちへお訴へになるのは正當でないです。兇徒は神

を怖れん者です。然るに、議官たちは、よろしいですか、神を怖るゝ者をこそ喜ばれるです、兇徒は喜ばれんですよ。其邊を篤と御すく慮なさらんと不可です。

シャロ なアに！ 若しもう一遍若くなれりや、劍で始末してくれませす。

エヴン いや、むしろ友人ちふ劍に此始末をお命じになるがえいです。恐らく、まだ其他にも、えい工夫を齎すべき所の妙案が浮びさうでありますよ。……えゝ、トマス・ページさんの女さんに、アン・ページといふ可愛らしい處女性がありまするて。

スレン (ぎくりとして) アン・ページさん？ 栗色の頭髮の、女らしい甲高な聲の……。

エヴン 全くあなたなんかの氣に入りさうな娘さんであるですよ。しかも正金で七百ポンド、それに金や銀を添へて、あの娘さんのお祖父さんが、臨終の際

に……神よ、楽しき復活にまでお導き下さい！……十七歳以上となつたら、これを彼女に遣つてくれいと遺言したですよ。ですから、ともかくも、此際は、お互ひにいざりござりを悉く抛却に及んで、エブラハム（スレンダー）さんと其ページの娘さんとを結婚させなされるちふことが良好な動議であるべく思ふですが、いかゞでありませうかなア？

スレン ちや、あの娘のお祖父さんが、あの娘に、七百ポンドを遺したのですか？

エワン さやう。さうして親父さんからも又其れ以上を貰ふですよ。

スレン あの娘はわたし知つとるです。伶俐な、立派な人です。

エワン 立派ですとも、七百ポンドの外に、まだ別の見込みまであるのですからなア。

シヤロ む。とにかくページさんに會ひませうわい。フォールスタッフは此の家にきつと來とるのですか？

エワン 手前が嘘を申す筈はない！ 手前は偽り者や不信實者を憎み賤むと同列

に嘘を吐く者を憎み賤むです。あの勳爵士は、士爵ジョンは、はい、こゝにをるです。ま、ま、好意者のいふ通りにおなりなさい。とにかく、案内を乞ひませう。（と扉を叩く）。あ、もしく！ 神よ、此家に祝福を賜はりまするやうに！

ページ （内にて）どなたですか？

ページ 出る。

エワン はい、祝福を持參致したあなたの友人と判事のシヤローさんですよ。もう

一人はスレンダーさんちふ若い方です、其方は、事によると、あなたのお氣に入るやうなら、改めてかはつたお話をなさらうちふですよ。

ページ どなたもよくおいでなすつて下すつた。シヤローさん、過日は有りがたうございました鹿肉を。

シヤロ や、ページさん、しばらく。いや、甚だお粗末さんでねえ。もつとえい肉

をあげたかつたでござしたか、殺し方がようなかつたのでねえ。……奥さんはお變りないですか？……や、ありがたう、おかげで！ はア、おかげで。

ページ 手前こそ御禮を申さんけりやなりません。

シャロ いや、わしらくそでござす。全く。

ページ (スレンダーに) や、御機嫌よう、スレンダーさん。

スレン あんたのこの、あの薄黄色の獵犬はどうしとるですか？ コツヨールの競走では負けたいふことを聞きましたか。

ページ いや、あの勝負は判然しなかつたんですよ。

スレン つまり、負けたといひたくないのですねえ、あんた。

シャロ (スレンダーに小聲で) いひたくないのさ。……(ページに) 全く御運がわるかつたのぢや、御運が。ありやアえい犬でござす。

ページ 駄犬ですよ。

シャロ い、や、えい犬でござす、美な犬でござす。善にして美でござす。此上の賞めやうはござすまい？……時に、ジョン・フォールスタッフどのお宅にをられるですか？

ページ はい、をられますよ。お役に立てば、わたし何でもいたしませう、お二人のお間の事で。

エワン (感心して) いかにもキリスト信者らしい御挨拶でありますなア！

シャロ ページさん、あの男は手前を害辱したでござす。

ページ さア、幾らか白状してをられましたよ、そんな意味の事を。

シャロ 白状したからつて、それは賠償にやアならんでござす。ページさん、そぢやござせんか？ 彼奴手前に害辱を加へたですよ、全くでござす。事實、加へたに相違ないでござす。従士格のロバート・シャローが申すでござす、

彼れは彼れの爲に害辱を蒙らされた。

ページ あ、フォールスタッフのが見えました。

士爵 ジョン・フォールスタッフが其部下三人を連れて出る。鼻赤の
バードルフと大口叩きのピストルと伍長上りの、humour (気分)と
いふ流行語を口癖のやりに濫用するニムとである。

フォール

(シャローに) おい、シャローさん、君はおれを王さんへ告訴しようてのかい？

シャロ

勳士爵、あなたは手前の家の者を撲つたり、手前の鹿を殺したり、手前の番
小屋を毀いたりされたてごわす。

フォール

(そらうそぶいて) けれども其番人のお娘なんかをキッスしやしないよ。

シャロ

(むくれて) なにを、馬鹿な！ 是非とも辨償して貰はにやならんです。

フォール

すぐに返答するよ。はい、その通り。さ、これが返辭だ。

シャロ

(いよくむくれて) 此上は、樞密顧問に知らせるでごわす。

フォール

うんにや、内密に子分だけに知らせる位がよからう。でないとい、い、物
笑ひだ。

エフン

勳士爵、簡短です。(只一言)。もし、お手やをらかに。

フォール

なに？ お出入りの八百屋だ？ やわらかなカベツが聞いて呆れる！……

スレンダー、なるほどおれは汝の頭を破つた。それがどうしたといふの
だ？

スレン

胴も頭もまんだ痛んでる位です、ですからあなたや盜賊野郎のバードル
フやニムやピストルに言ひ分があるです。あやつらは僕を無理に酒場へ
連れてつて、酒に酔はせて、僕の財布を掏りをつたです。

バード

何だと？ バンベリー乾酪め！

と立ちかゝる。「バンベリー乾酪」は薄ッべらなので有名であ
る。で、スレンダー(薄田瘦太郎)の瘦せてゐるのを嘲つて使つ

たのである。

スレン (其勢ひに怕れて) なに、あの、何とも言やしないよ。

ピスト どうしたと? メフィストフィラスめが!

と是れも立ちかゝる。

スレン (いよく怕れて) なにも、その、言やしないよ。

ニム (劍をひねくつて、立ちかゝつて) 削ぐぞ、うぬッ! 簡短だぞ。削ぐぞッ! てィの

が、おれの氣分(意氣)だ。

ニムの口癖は 'humour' といふ語である。此語は當時の流行語で、本来は醫道の科語で、人體に存在して其氣質を醸成すると假定された或特殊の液を指したものである。例へば膽汁、血液、痰など。苦勞性だの、痲痺だの、浮氣肌だの、すべて一調子ちがった性行は、すべて此液の然らしめるのだと信ぜられ、そこからして此「液」といふ語が「氣質」又は「氣分」といふ

義に使はれ、それが流行となつた結果、一調子變つた奇異な或は面白い、或は可笑味の心持や遣り口を「ユーモア」の語で蔽ふやうになつた。「意氣」とか「洒落」とかいふ意味にまで濫用することゝなつた。ニムの如きが其濫用者の代表である。

スレン (こらへかれて) シンプルはゐないか、おれの家來は? (と加勢を求めつゝ、シャローに)

あんな、何とか言つて下さい!

エワン (仲裁的に) まあ〜! お互ひに善く領解しませう。手前の領解する所で

は、此事件には三個の仲裁者があるであります。といふのは、先づ、ペー
ジ氏即ちページさんです。それから手前即ちわたしです。而うして最後
に、最終に、第三者として、ガーター館の御亭主がをられるでありますよ。
ページ ころりやア、わたしら三人が立會つて、此始末を附けべきです。

エヴン はい、けつこうです。事件の要でんを手帳へ控へておきまして、後でゆるゆる成るだけ賢明なる熟議を遂げることにしませう。

フォル ピストル！

ピストル はい、耳にしてゐます。

エヴン (聞き替めて) やれ〜！ ま、何ちふ厭らしい言葉ぢや！ 「耳にしてゐます」ッ！ 氣取つた、ぶ自然な！

フォル

スレン

ピストル、きさまはスランダーどんの財布を掏つたか？

掏つたとも、此手袋に掛けて。でなかつたら、僕はもう二度とあの大寢室を使ひ得なくなつたつて構はん。縁に刻み目のあるやつが七グロート、「滑らし板」に使ふエドワードが二枚。ありや一枚でニシリングニベンスした、此手袋掛けて。エット・ミラーのそこから買つたんだ。

「滑らし板」は滑らかな板の上へ我碁石の如きものを滑らして

勝負を競ふ遊戯。其コマにエドワード六世時代に出来た古貨幣を適用するのが例であつた。「大寢室」は驕奢を街ふ徒の誇りの種であつた。スレンダーは田舎紳士の癖で、實際は有つてぬぬ大寢室を虚榮から斯く所有してぬるらしく吹聴するのである。

フォル ピストル、ほんとか？

エヴン いや、うそぢやらう、掏摸めの言ふことなら。

ピス (怒つて) 何いやがる、山男めが！……(氣取つて) あいや、御主君、士爵閣下、此上はそれがしあの竹光野郎に挑戦します。……(スレンダーに) やい、うぬの唇頭に否定の語を印し附けてくれるぞ！ 否定の語を。大うそつきの渣滓野郎め！

ピストルは「ヘンリー四世」に於ても劇が、りの大言壯語を口癖とする無頼漢である。「竹光野郎」はスレンダーの愚鈍と瘦軀

を嘲つたので、原語の意は劇に使ふ小道具の細刃の劍である。極薄手の鉛まがひの金屬で製つたもの。

スレン

(又おびえて、しりこみして)ちや、きつと(とニムを指さして)あの男だつたんだらう。

ニム

おい、よく考へてから氣分(意氣)を變へろ! 「鍵の手」の氣分でちよつ、かいを出したりなんかすると、爲にならねえよ。ほんのこつた。

「鍵の手」は我サスマタに似た捕り方の武器、故に刑事の義。「たのにならねえ」原文には「牢へ抱いて行くぞ」といふ意味の卑語が使つてある。

スレン

(迷つて)ちや、きつと、あの赤い顔の男が奪つたんだ。酔つてたからよくは覚えちやゐないけれど、僕はまるツきり馬鹿ぢやないぞ。

と流石に少し焦れ出す。

フォル

(バードルフに)赤面、どうだ?

バード

きつと何だ、おれが思ふに、あの人ア酔つて五勘定が働かなくなつてゐたんだね。

エヴン

(眉を皺めて)「五感」の事だらう。無學文盲は困つたものだ?

バード

(フォルスタッフに)泥酔つてましたからね、支拂はれるやうなことになるツちまつたんです。それで、つい大飛躍に突ツ走ツちまつたんです。

原文は無賴漢のスラングづくめ。「支拂はれる」は「掠奪される」の義。「大飛躍」は馬術の科語、「騎虎の勢ひで、つい掠奪に及んだ」と隠語づくめで答へるのである。で、スレンダ―には通じないから、其幾分はラテン語であらうと臆測して、次ぎの如くにいふ。

スレン

さう、あの時もラテン語を使つたつけ。そんなことはどうでもえいが、あんな目に逢ふから、僕はもう二度とは酔つばらはない、正直な、立派

な人と一しよでなけりや。神を怕れる人達とでなけりや酔つばらはない、酔ひどれの悪黨なんかとは一しよに飲まない。

エワン (感謝して) 神よ、立派な心掛けちやとお賞めなされて下さい！

フォル (一同に) 諸君、これで宛だてことが解つたらう。え、解つたらう？

こゝへ此家の女のアンが酒の壺を持って出る。
フォードの妻とページの妻も其後から出る。

ページ いゝえ、女、お酒はあつちへ。奥で飲むんだから。

アンはすぐに入る。

スレン (アンに見とれて) おゝ天よ！ あれがアン・ページさんだ！

後ろ影をいつまでも見送つてゐる。

ページ や、これは、フォードさんの奥さん！

と挨拶する。フォールスタッフも立つて来て

フォル フォードの奥さん、いゝところでお會ひしました。失禮ですが。

と接吻する。當時は親しくない人妻にも接吻するのが習ひであつた。

ページ (妻に) 皆さんに御挨拶をなさい。さ、さ、出来立ての肉饅頭でおもてなしを
しませう。さ、諸君、一切の行き違ひを飲み流してしまふことにいたしま
せう。

シャローとスレンダーとエヴンスだけを殘して皆入る。バードルフ、
ピストル、ニムの三人は、めいゝ剣の櫛に手を掛けたり何かし
て、通りすがりにスレンダーに擬勢をしながら入る。スレンダー
は只もうアンに心を奪はれたらしく氣ぬけのやうになつ
て考へに沈んでゐる。

スレン (歎息して) あゝ、四十シリングぐらゐ捨てゝもえい、小歌と十四行詩の
集めてあるあの書が今欲しいなア！……

當時の有名な出版物に「Todd's Miscellany」といふのがある。それは主として戀愛の小品詩を集めたものである。スレンダ―が欲しいといふのはそれで、アンに言ひ寄る料にしようといふのである。戀歌を意中の人に贈るは當時の習はし。シンプル出る。

シンプルか、どうしたんだ？ どこへ往つてたんだ？ 何もかもおれが自分でせなけりやならんわい！ おい、「謎の書」を持つてるか？

シンプル 「謎の書」？ あれ、お前さま、アリス・ショート・ケークさんへ貸しなすつたぢやないかね、それ、あの、先の衆聖節に、マイケール祭の二週間ばかり前に？

シャロ (スレンダ―に) おい、君。おい／＼。君に話したいことがあるんぢや。ちよつと／＼。……實はなア、こゝにをられるヒュー先生から遠廻しに申し込ま

スレン れたる所の、その、一種の内談があるんぢやがなア。え、解つたかね？

スレン はい、僕は常に合理的であるです。さういふわけなら、苟も合理性であるなら、僕はやりますよ。

シャロ いや、まア、わしのいふことを善く聞きなさいよ。

スレン はい、聞いてますよ。わかつて居るです。

エヴン ねえ、スレンダ―さん、シャロ―さんの御提議を傾聴なさい。なほ其事情

は、あんたが能力的でお有りであれば、手前が闡明をするでありますが。

スレン 無論、シャロ―さんの言はれる通りにします。憚りながら、従弟は治安裁判

官であるです、僕はこんな平凡な人間であるですけれど。

エヴン いや、そんなことをいふのではないです。あんたの結婚に關することであるです。

シャロ さやう、それが要點でござす。

エワン さやう、全くそれが要でんであります。アン・ページさんとの御縁談の事
ですよ。

スレン あゝ、さういふわけなら、苟も合理性の事なら、どんな條件でも、結婚する
ですよ。

エワン ですがねえ、あなた、あの女ツ性を愛好し得ますか？ それをあなたの口か
ら直接に承はりたいです、乃至は唇から。といふのは、哲學者にいはせれ
ば唇は口の一部でありますからして。ですから、改めて承はるですが、
あなたはあの娘さんに好意を寄與し得ますか？

シヤロ 従弟エブラハム・スレンダー、君はあの娘を愛し得るかい？
スレン 合理性を行はうとしてをる者に不似合ひでない限りのとは、やり得るです
大抵。

エワン いや〜！ もつと確能的の御返辭が承はりたいですよ、果してあの婦人

シヤロ に愛情を寄與し得られるですか、どうですか？

スレン それ以上の偉い事だつても、僕はするですよ、あなたが頼むなら、合理的の
結婚をするかい？

シヤロ いや、君、困るね、もつとよく理解してくれんぢやア。こりや、その、君の
爲にする事なんぢや。え、君はあの娘を愛することが出来るかい？

スレン はい、結婚しますよ、あなたのお頼みなら。たとひ初めは大きな愛情が存
在しないでも、結婚して、親しくなつて、互ひに善く知り合へば、自らそれ
が減却増加するでせうから。「親むに随つて家内安全」親しむに随つて輕んぜ

らる」といふでせう。あなたが結婚せいといへば、僕結婚するです。これ
は、その自發的に、頑乎として斷言するです。

エヴン や、どうも頗る賢明的な御返答であります。只その「頑乎として」といふお言葉はいかんです。(シャローに)ありや、われくなら、正に「断乎として」といふ場合であるです。勿論さういふ意味として言はれたではありませんが。シャロ さやう、さういふ積りでござせう。スレン さうですとも、でなかつたら此首を縫めて貰はう！

（二方を見て）あ、アンさんが来た。……

娘のアン・ページが又出る。アン嬢さん、あなたを見ると、もう一遍若くなりたくなるですよ！お食事の用意が出来ました。父が皆さまのお出でを待つてをります。シャロ はい、すぐ参るでござす。

エヴン 有りがたい御神慮！ 謝恩時(食事時)に缺席的であつてはなりません。シャローとエヴンスと入る。

アン (スレンダーに)あなたもいらつしやつて下さいまし。どうぞ。スレン (妙に方附けて)いゝえ、どうも有りがたう。いゝえ、けつこうです。アン お食事の用意がしてありますから。スレン (ますく固くなつて、體裁を作つて)いゝえ、まだ空腹ではないでありますから、どうも有りがたう。(シンアルに)やい、ささるまはおれの家來だが、従弟のシャローのそばへ往つて、用をしてやつてくれ。(シンプル



が入る。とアンに）治安判事でも、時々友人から家來を借りるですよ。僕は、家母が生きてる限り、やつと男を三人、小僧を一人使つてゐるだけです。だが、それが何になる？ 生來の貧乏紳士たるに過ぎんです。

アンへの虚榮の自慢話である。當時の習慣として豪族は宴席へ家僕を伴ひ行き、宴間に身邊の小所要を命じた。シンプルは判事のシャローよりも資産家であることをアンに誇耀するのである。

アン (困つて) あなたがおいで下さいませんかや歸つてゆかれませんか、あなたがいらつしやらなければ、皆さんがお席にお着きになりませんから。
スレン いゝえ、僕は何にも食べません。ありがたう、もういたゞいたも同じであるですから。

アン どうぞ、あなた、あちらまでお歩きなすつて。

スレン いゝえ、ありがたう、こゝで歩いてたはうがえいです。此間、擊劍の師匠と長劍と短劍の試合をやつて、脛に劍を受けたです。煮た乾李一皿を賭けて三番やつたです。それからもの、熱い煮込みの臭ひは堪らないです。……(聞き耳を立て) なんて、あゝ犬が吠えるのです？ 此町に熊があるですか？

アン ゐるやうです。折々噂を聞きました。

熊とは當時流行の見せ物の一つであつた。熊いぢめれのそれを指す。熊を鐵鎖で繋いでおいて猛犬數頭を喉けて之れを襲はしめたのである。

スレン 僕はその遊戯が大好きです。あれに掛けちやイギリス中の誰れにだつて負けません。え、あなたは熊が檻の外へ出てゐるのを見ると、怖いですか？
アン 然、怖ござんす。

スレン 僕にはあれが大好物です。僕は二十たびも見たですよ、サッカーソン（熊の名が外へ出されてるのを。さうして僕は奴の鎖を手で掴んだですよ。けれども女達は、そりや非常にわめいて、きやつ〜といったですよ、實際。女達は、實際、迎も堪へ得ないです。そりや、その、迎も怖ろしい面した猛獸ですからねえ。

ページ出る。

ページ さ、さ、スレンダーさん、おいでなさい。みんなが待つてます。

スレン 僕は食へたくありません、ありがたう。

ページ いや〜、是非に及ばないですよ！ さ、さ。

スレン いや〜え、あんた、お先きへ。

ページ さ、おいでなさい。

と先きに立つ。

スレン アンさん、ちや、あんた、お先きへ。

アン いや〜え、わたくしは。あなた、どうぞ。

スレン いや〜え、お先きへは行きません。いや〜！ それでは失禮になるのですから。

から。

アン ま、どうぞ。

スレン ちや、「迷惑をかけるよりは無作法」をします。ですけれど、あんまり御謙遜過ぎるですよ、實際。

みなはひ 皆入る。

第二場 同處

學士 ヒュー・エヴァンスとシンプルが出る。

エワン

往つて、醫師ケイヤスの宅はどつちだか聞いて来て下さい。あそこに、その醫師の家政婦だか、介抱人だか、料理番だか、洗濯屋だか、洗ひ手だか、絞り手だか知らんが、クイックリーといふ後家さんがをる筈です。

シン

へい、なるほど。

エワン

大丈夫、まだえい。(と手紙を出して)これを其女ツ性に届けて下さい。あの女ツ性はアン・ペーじさんの極親密的な婦人でありますから、そこでお前さんの御主人の御懇望の次第を好い具合にアンさんへ取次いで貰ふために此書面を遣るですからね。どうぞ往つて来て下さい。わしは食事を済ましてしまはう。まだ乾酪林檎が出さうだから。

左右へ別れて入る。

第三場 ガーター館の一室

フォールスタッフ、ガーター館の亭主、バードルフ、ニム、ビストル井びにフォールスタッフの侍童ロビンが出る。

ガーター館は旅舎。亭主は變り物で、誰れに對しても、や、bully! と呼びかける癖がある。bullyとは口ばかり強さうな様子ばかり勇士らしい、其實、臆病な、暴慢な男といふ意。「偽豪傑」とも譯すべきであらう。但し亭主は悪口としてでなく、親愛を表する語として使ふ。又無學の癖に古典中の人物の名を間違ひだらけに引用したり、格言らしいことを言つたりする。無遠慮な、磊落な男である。

フォール ガーターの御亭!

亭主 はい、何御用だね、僞豪傑？ どうか學者らしい、賢明なことをね。

フォル 御亭、もうどうしても附いてる奴等を一人二人抛り出さなければならなくなつた。

亭主 ちや、はたき出すさ。とつと、勝手に歩らせるさ。

フォル (溜息をして) 一週十ポンドといふ生計だからなア！

一年八十ポンドといふ生計は、當時の最下等の紳士の資格。

亭主 どうして、帝王さまだよ、シーザー様だ、カイザー様だ、フィーザー(土耳其の大) 臣)さままだ！……バードルフはわッしが引取つて呑口を開けさせたり、汲ませたりしよう。ね、さうすりやよからう、僞豪傑？

フォル ちや、さうしてくれたまへ。

亭主 二言はありませんや。およこしなさい。(バードルフに) 泡や石灰をやつて見て貰はう。わッしは一言男だ。さ、さ。

亭主だけ入る。

ビール 麥酒の泡を立てたり、イスパニヤ産の wine または sake といふ甘味の
のない一種の葡萄酒に石灰を入れたりする役をさせよう
といふのである。石灰を入れるのは酒毒を除くためであ
つたといふ。或は酸味を去るためともいふ。

フォル バードルフ、従いてけ。給仕人はい、職業だ。古い羽織は新しい胴着に
なり、しなびた家來は生きくした給仕人になるのが定例だ。さ、ゆけ。
さよなら。

バード 實はそんなことをしたいと思つてたところだ。多分まんが直るだらう。

ピスト (バードルフの入るを見送りながら) ハンガリヤンの乞食野郎め！ さ、さ、まは樽の
栓抜きになる氣か？

ニム なアに、やつは泥酔つてる最中に生れたんだよ。といふ氣分(洒落)は思ひ

附きだらう？ 勇者らしくない氣質だから、といふ處に氣分(洒落)があるんだ。

フォル 有りがたい。先づ、あの小絨箱をお拂ひ箱にした。やつは明けすけに盗みやアがるから困る。やつの盗みツぷりは、下手な歌うたひと來て、間がぬけてる。

ニム 寸の間休みを盗むのが黒人の氣分(意氣)だからね。

諺に「寸の間の盗み休み」といふのがある。労働者は監理者の目を盗んで、とかくサボリたがるといふ意。一説には「番人に暇はあつても盗人には暇がない」の意だともいふ。又一説に、原文の minute rest は、minim rest の誤植で、「半音」の義。「半音で盗む」とは「啞唝的に盗む」ので、機敏の意。孰れにもせよ、音楽に謂ふ「間」へ引掛けた洒落。

ピスト 黒人は(盗むとはいはれえ)あげると言はアな。「盗む」なんて、そんな語は下等

だ！

フォル (元氣無げに) なア、君たち、俺はもう踵がはみ出しツちまつたよ。(大窮乏だ)

ピスト ぢや、いよく「戦と來るかね。

フォル どうもしやうがねえ。欺すか、騙るかしくちやならねえ。

ピスト 「鴉の雛にや餌が第一」だからね。

「鴉」は詐欺師の異名。

フォル だれか此町のフォードで男を知つてるかい？

ピスト 知つてます。やつは中々の財産家です。

フォル (二同じ)とところで、けふ特に聞いて貰ひてえのは、おれの身の廻りの事だ。

ピスト そりや解つてまさ、無論ニヤード以上だ。

フォル 駄洒落れるな、ピストル！なるほど、おれの胸はニヤードもある。けれ

ども今話さうてのは、そんな無駄話(浪費)ぢやアねえ、大緊急事(大勤儉)だ。

實はなア、フォードの嫌の情人にならうてんだ。彼女たしかにお出でなすつてる。しやべり立てる、ちやほやする、味な目附をする。さう馴れ／＼しくする奴の底意は容易く解釋が出来る。一等解しにくい科介でも、奴のは、イギリス語に譯して見りや「わたしはジョン・フォールスタッフさんのものよ」と讀まれるんだ。

ピスト (ニムに) 大將は女の心持を研究して淫蕩的と翻譯したんだ。

ニム 錨は大ぶ深うござい！ とは、どうだ？ い、氣分(洒落)だらう？

フォル ところで、噂ちやア、其亭主てのは天使(貨幣の名)を一聯隊も持つてるんだが、其財布の締め括りは、嫌アが一切やつてるてイこつた。

ピスト ぢや、悪魔を一聯隊も抱へ入れて、やつたり／＼！ おッし／＼！

ニム 大ぶ氣分(意氣)がい／＼ね。妙々！ 何なら、其天使でちよつびりおれの御氣分(機嫌)を伺つてくれ。

フォル

(二通の書状を出して) こりややつへ遣る艶書だ。それからこりやページの療のそこへやるのだ。やつもつい今、いかにも惚々と愛嬌を見せて、流し目でおれの身體中を検査しやアがつた。ある瞬間には、あの目がおれの足の邊へびかり、ある瞬間には、この肥つた下ツ肚の邊へびかり。

ピスト

それぞ即ち糞塚山へ太陽様の御照臨てやつた。は／＼！

ニム

よいしよ！ 旨い氣分(洒落)だ。

フォル

おゝ！ 實際、おれの此身體中を、まるで其じつと見詰めた目を、取火鏡にして、おれを焼くんぢやねえかと思ふほど熱心に、今にも嚙り附きさうな様子で見廻はしたものだ！ だから、やつへも艶書を遣ることにした。やつも財布持ちだ。ギャナの一區域よろしくで、金ならたらふく、ふんだんと来てゐやがる。そこでおれがあの一二人のチーター(欺騙者)に、やつらがおれの大藏省にならうてんだ。俺の爲の東西印度だ。だから巧く通商談判

をせんけりやならん。(ピストルに)きさまは此手紙をページのすみさんへ持つてけ。それから(ニムに)きさまは之れをフォードのおかみへ。今にまんが直るだらうから、なア、お互ひに。

ピスト

(むくれて)え、おれがトロイのパンダラスどん(ギリシャの娼淫者)なんぞになつて、斯う剣をぶらさげてゐいてえのか? (武士たる者が卑劣な慶菴なんぞの眞似が出来るか?) そんな事がありやア何もかも悪魔王にくれてやらア!(べらぼうめ、そんなことがあつてたまるものかい!)

ニム

(同じく反りかへつて)乞食臭い気分は眞平だ。こんな氣まぐれ気分の手紙はいやだ。おれは名譽を重んじるんだから。

フォル

(突戻された二通の艶書を侍童に渡しながら)やい、こら、此手紙を落さんやうに持つてけ。戀の渡し船らしく金色の向う河岸へ走つてゆけ。(ピストルとニムを睨み附けて)悪黨、いッちまへ。うしやアがれ! 霰のやうに消えてなくなれ。

駈ける、蹄で走れ、早くどつかへ逃げ込みやアがれ! フォールスタッフもけふからは時代氣分だ(當世流だ)、フランス流の儉約をするんだ、悪黨めら! へらく裾の小奴一人で済ますんだ。

節約のために、家僕を減らして、フランス生れの侍童一人だけで間に合はすことが流行つたのである。「へらく」裾はへらくと翻る裾の義で、侍童の上着の特色。
フォールスタッフはロビンをつれて入る。

ピスト

その臍腑を元鷹にでも掴まれてしまやアがれ! 瓢(一種の骰子)やフラム(同上)が役に立つわい。高目と低目とで、有る奴も無い奴も此方のもんだ。おれの巾着にや六片は缺かねえや、きさまが空ツけつでゐやアがる時でも、うぬ、フリジャ土耳其め! (憚んなら骰子が役に立つ以上、きさまの世話にはならんわい、トルコ爺め!)

「瓢」コブラム、共に仕掛けをした欺騙用の骰子。「高目」は四、五、六、「低目」は一、二、三。「フリジャ土耳其」は當時の貶稱呼。

ニム おれは今考へてる仕事がある。といふのは仕返し気分だ。

ピスト 仕返しをする氣か？

ニム (氣取つて) 天及び日の光りを掛けてだ。

ピスト (ちよつと語呂を合せて) 劍又は智の力？ どつちだ？

ニム そりや兩方の氣分でやるよ。先づ、やつこの此横戀慕氣分を、俺があこのべー

ジへ知らせる。

ピスト (ちよつと節を付けて唄ふやうに)

ではおれはまたフォードに話を、

卑劣非道のフォールスタッフが

やつを欺して、いゝ子になつて

金をせしめて寢所まで奪ると。

ニム おれの此氣分は冷さねえぞ。ページめに毒を飼つて、火のやうに怒らせ
て、眞黄色に妬かせてくれる。おれさまの御謀叛と來ちや怖ろしいんだか
らな。これがおれの本當の氣分だ。

ピスト おまへは不平黨のマーズ様(塵梨支天)だ。二番手にやおれが控へてゐる。
進軍ッ！

二人とも入る。

第四場 醫士ケイヤスの家の一室

クイックリーの後家とシンプルとケイヤスの僕のロケビーが出る。

クイク え、ジョン・ログビーどん！ よ、頼むから、窓口へ往つて見ておくれな、旦那は、ドクター 醫士ケイナス先生はまだお見えにならないか、見ておくれな。歸つて見えたりといふと、家中に人間さへありや、又例の悪體もく體がおツばじまるんだからよ。

原文には「神を怖れもせて英語のへづり取りが始まるんだからよ」とある。これは King's English を英語といふ意味と其名の貨幣とに通はせて、フランス生れの醫師ケイナスが片言の舌ッ足らすの英語を使ふのを一時行はれた金貨の周邊を削り取つて、小さくして使用する不正行爲に比したのである。

ログビー 見て来よう。

クイク さ、さ。夜になりや、すぐと御褒美の卵酒が出るからね、海石炭の残り火で温めたやつが。(ログビーが入ると、シンブルに) 正直な、氣のいゝ、深切な、召使

ひにや此上もない人ですよ。それにね、わる口屋でなく、喧嘩好きでなくツてね。馬鹿らしいほどお祈禱に凝つてるのが一等わるい癖だけでもね、だれだつて何か知ら癖は有りますよ。それはさうと、あんたの名はピーター・シンブルさんですか？

シンブル さよです、外に持ち合せが無えだからね。

クイク スレンダーさんてのが旦那さまですか？

シンブル はい、さよです。

クイク 大きな、圓ツこい……手袋屋の削り小刀のやうな……髭を生やしておいでの方でせう？

シンブル いんにや、旦那は小ちやい、ちツぼけな顔の人でさア、ちツとべい黄色い髭が生えてますだ、薬色をした髭が。

クイク やさしい氣立の方でしよ？

シンブ はい、さよです。でも、こゝとあそことの間のどの人にだつて負けねえほどに強い人ですア。兎園の番人と撲り合つたことがあるだからね。

クイク おやまあ！……あゝ、憶ひ出した。反りかへるやうにして大股に歩く方
でしよ？

シンブ はい、さよです、全く。

クイク ちや、神さま、どうぞ彼方をアン・ページさんにお取持ち下さいまし！……
エヴンスの先生さまにさう申して下さい、あんなさんとこの旦那さんの爲
にわたしが出来るだけの事をしますと。アンさんはいゝ娘さんですから
ね、わたしは……

ログビー 出る。

ログビー さ、大變！ 旦那が歸つて見えた。

クイク みんながひッ叱られるよ。(シンブルに) ねえ、あんな、早くこゝへ逃げ込みな

さいよ、此押入れの中へ。長くは居なさりやしないからね。(大急ぎでシンブル
を室のすぐ脇の狭い押入れへ閉め込みながら、わざと大きな聲で) ねえ、ジョン・ログビーど
ん！ ジョンどん！ ねえ、ジョンどんてば！ さ、早く往つて、旦那さまを
お尋ね申して来て下さい。若しかお加減でもわるいのぢやないか知らん、
いまだにお歸りにならないのは。(と言つておいて、わざと濟して、歌をうたふ)。
アンド、ダウン、ダウン、アダウンニヤ、云々……

これは流行り歌の囃子言葉である。

『ハムレット』のオフィリヤも此囃子言葉を口ずさむ。

ドクター 醫士ケイヤスが出る。フランス人で英語は舌ッ足らずのやう
な片言しか使へない。おまけに氣短で急き込むから尙
うまく言へない。これは實在のモデルがあつて書いたもの
だらうといふ臆説がある。

ケイヤ あなた何歌ふあります？ わたし嫌ひ、それ詰らん。わたし頼む、あなた

わたし押入れの中行き、小匣子(boite en velle)……箱、緑い箱持つて来るよろしい。わたし言葉わかりましたか？ 緑い箱。

クイク はい。すぐ取つて参ります。(傍白)自身で取りに行かつしやらなくて仕合せ。あの若い人を見附けでもしたら、それこそ眞黒焦げの焼餅騒ぎだ。

ケイヤ (寒がつて)フイ、フイ、フイ、フイ、フイ！ *Ma foi, il fait fort chaud* (あゝ、實に、寒い……重要事件で)。

クイク (小箱を持つて来て)これでございますか？

ケイヤ *Oui, mette le au non pocket*。(うん。それをおれの衣籠へ入れる)。*depeche* (早く)。早く。何處をります、彼奴あやつログビー？

クイク おい、ジョン・ログビーどん！ ジョンどん！

ログビー へい、こゝにゐます。

ケイヤ あなたジョン・ログビー、だからジャック・ログビーあります。あの細刃劍持つて来る、そしてわたし後につき、すぐ宮中行くよろしい。

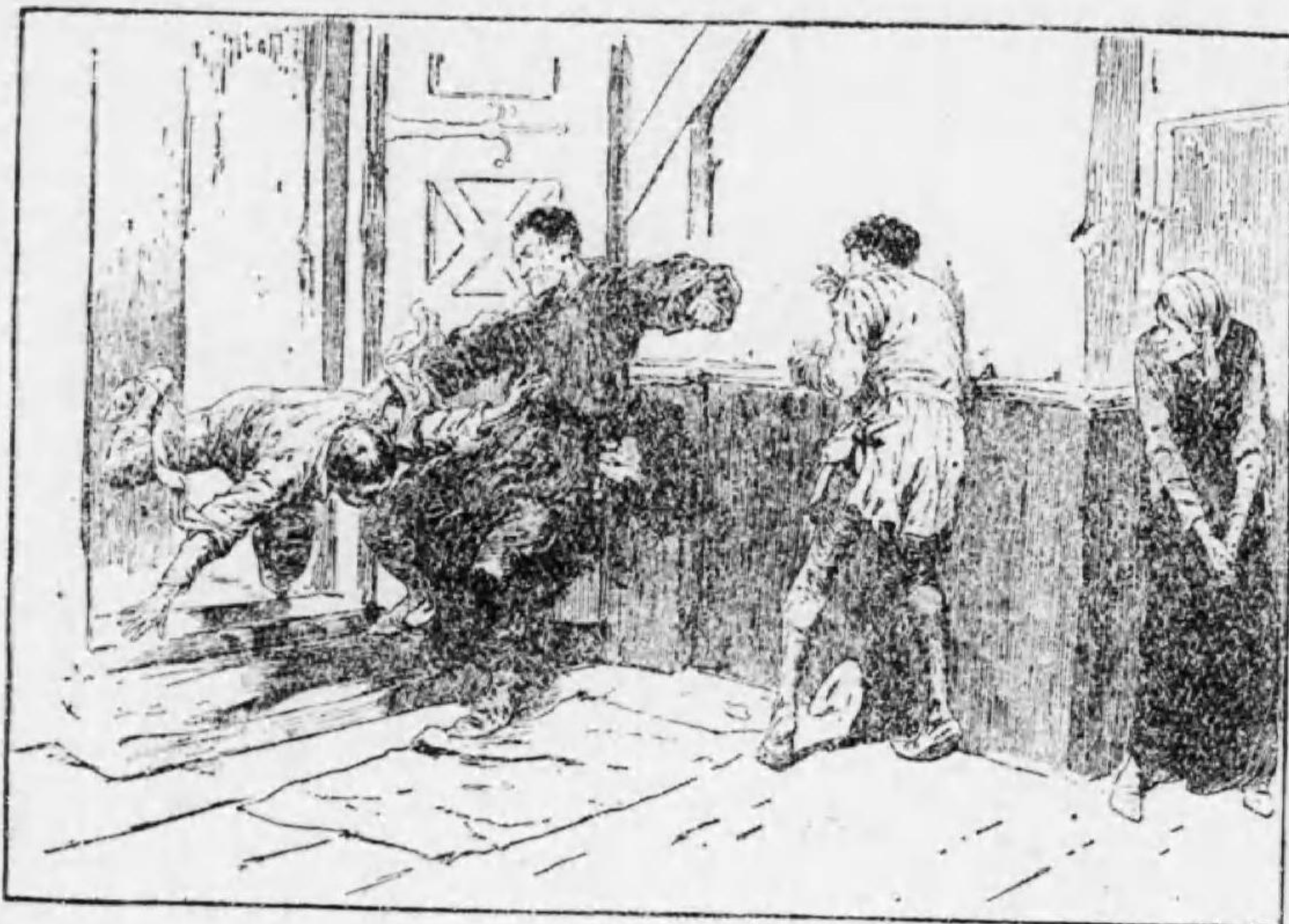
ログビー へい、ありやお玄關けんくわんにございます。

ケイヤ あゝ、おそくなりました。(と行きかけて)あッ！ *Qu'ay oubliés*(忘れた！)あ、あの押入れの中、大切の藥草せんぷろあります。あれ忘れる大變たいへんあります。

ケイヤ (傍白)さア、大變たいへん！ あの若い人を見附け出して、氣ちがひ騒さわぎが始まるだらう。

ケイヤ (押入れの中で) *O diable, diable!* (ヤッ！ 畜生、々々！)是れ何者？ 惡黨あくたう棒！

クイク まア、旦那たんなさま、おしづかに。 細刃劍らいびえい々々々！



クイク わたし、なぜ、おしづかしますか？

クイク その人は正直な人なんですから。

ケイヤ 正直な人、なぜ、わたし、押入れ、這

入りますか？ 正直な人、わたし、

押入れ這入る筈ありません。

クイク ねえ、あなた、さう鈍重質（神經質の間

違ひ）におなりなさいませんで。ま

ア譯をお聞きなすつて。其人はヒュ

ー牧師さんからわたしとこへ見

えたお使ひの人です。

ケイヤ む。

シンブ はい、さよです。あの、此人にお頼

みしまして……

クイク シッ！ まだまつて、下さい。

ケイヤ (クイククリーに) あなた黙つてるよろしい。(シンプルに) あなた話すよろしい。

シンブ この人に、あなたとこのお女中の此人に頼みまして、手前とこの旦那の

縁談を、アン・ページさんにして貰はうてえのでござえます。

クイク 然、全くそれツきりなのでござんすよ譯は。けどもねえ、わたし、火中

へ指なんかは眞平でございますのよ。

ケイヤ 其人學生ヒューから来た使ひ……ログビー、紙々。(シンプルに) あなた少し

待つよろしい。

一隅の机に倚りて書面をしたためる。

クイク

(小聲でシンプルに傍白) けふは旦那がおとなしくて仕合せよ。すつかり怒つたりといふと、そりやお前さん、逆も大きな、メランコリイな(何かの詭語) 聲を

して怒鳴り立てるんですけどもね……だがね、かまやしないよ、わたし出来るだけの事はしますよ、あなたの旦那さんのために。實をいふとね、あのフランス・ドクターさんは、わたしの旦那は……あの方を旦那といったつて當然でせう、なぜなら此家の事はみんなわたしがするのですよ。洗濯もすれば絞りもする、お酒も醸る、麵麩も焼く、擦りもする、お料理もする、床も敷く、何もかもわたし一人なんですから、それでその……

シンブ

それを一人ツきりで脊負ふんぢやア、大變だねえ。

クイク

そこにお氣が附いて？ ほんとに大變ですよ。起きるのが早いのに、寝るのは晩し……そんな風だけでもね……(二段聲をひそめて)内しよでいふがね……わたし何にもいひませんの……實はね、旦那自身がアン・ページさんに惚れてるんですよ。ですけどもね、わたしアンさんの氣はよく知つてますがね……そつちでも、こつちでもないのさ。

ケイヤ

(手紙を書き終つて)あなた、猿野郎、此手紙、學士ヒューへ持つて行くよろしい。By garr! (誓言)、是れ決闘状あります。わたし公園行き彼男の喉切ります。わたしあの卑劣な猿野郎牧師、教へてやります、餘計な事すること。あなた出て行くよろしい。くづくする、あなた爲よろしくない。……By garr! 彼男の翠丸二箇ながらわたし切ります。By garr! 彼男、犬に投げる石もうち持ちません。

シンブル 手紙を持つて入る。

クイク

まア！ お友だちのために、ほんのちよいと口をきくなすつたばかりだのに！

ケイヤ

かまふことない、それでも……あなたあのアン・ページわたしの物になる言つたありませんか？ By garr! あの馬鹿牧師わたし殺します。わたしジャーター館の亭主吩咐けます、武器しらへること。……By garr! アン。

ページ是非わたしの物します。

クイク お手に入りませうよ、あの娘さんあなたに惚れてますから。……(傍白)負け方にやア喋舌らせておかなきゃならない。あゝ、やれ〜！

ケイヤ ログビー、さ、一しよに宮中行くよろしい。……Bye! アン・ページわたしの物にならん、其時わたしあなた放逐します。……ログビー、さ、すぐ従いて來ること。

ケイヤスとログビー入る。

クイク (其後ろ影に) なアに、きつとお手に入りますよ (とまだ言ひ切らないうちにケイヤスは入つてしまふ。と舌を出さないばかりの表情で) 阿呆帽子がね。駄目よ、アンさんの肚は解り切つてるからね。ウインゾアちうにわたしツくらゐアンさんの肚を知つてるものはありやしないもの。またわたしぐらゐあの子を自由にし得るものもありやしない、有りがたいことに。

此時奥からフェントンといふ若い男の聲で

フェン どなたかおいでですか？ もしく〜！

クイク まあ、どなた？ お入りなさいまし。

紳士フェントン出る。

フェン やア、おかみさん、どうですね？ おちやうぶですか？

クイク へい、ありがとうございます、おかげをもちまして。

フェン 何か變つたことがありますか？ 美しいアンさんはどうしてゐます？

クイク ほんとにあの方はお美しくつて、おとなしくつて、御品行がようござんしてねえ、そしてついでに申しときますが、あの方はあなたが大好き、さすがは神さまのお計らひでございますよ。

フェン ちや、成功しさうかね？ 失望するやうなことはないかね？

クイク 何もかも神さまのお手にありますよ。ですけどもね、フェントンさん、わた

し聖書で誓言をしますがね、アンさんは慥かにあなたに惚れておいでな
いますよ。ねえ、あなたのお目の上にお疣がございますか？

フェン あゝ、あるよ。それがどうしたい？

クイク さ、そこに曰くがございますの。……ほんとにあのアンちゃんだけは別仕
立ですよ。けどもね、あんな品行のいゝ娘ッ子ッたらありませんよ、わた
し斷交(斷言)します。……そのお疣の事で一時間もお話をしましたつけがね

……あのお子と一しよの時ほど心から笑ふことアありやしませんの！……
けどもね、どつちかといふと、中樽性で、考へ込みなざる癖がありますの。
でもねあなたには……まア、そんなことは何ですけどもね。

フェン ちや、けふ會ふことにしよう。さ(と貨幣を幾らか出して)これはお前さんに。
どうかわたしのために口をきいて下さい。若し、わたしよりも先きにお會
ひでしたら、よろしくいつて下さい。

クイク 然々、さう申しませうとも。ねえ、此次ぎ御内談(御會談)します時分にや、ま

たねえ、お疣の事や他の求婚者の事をお話しませう。

フェン ちや、さよなら。今は大變に急ぐことがあるから。

フェントンは俄かに急いで入る。

クイク ごきげんさまよう！……ほんとに正直なお方だ。けどもアンちゃんが好き
いてゐないことは慥かだ。あの子の心はわたしにやよくわかつてゐる。……
……あら、とんだことをした！ ついあれを忘れてゐた！

クイクグリーあわてゝ入る。

* * * * *

第二幕

第一場 ページの家の前

ページの妻が一通の書状を持って出る。

ペー妻

まア、わたしは、美し盛りによ、附け文なんかされたこともなかつたのに、今頃こんなものを貰ふとは！ 読んで見よう。(と讀む)。

何故君を戀ひ慕ふかと其理窟を問ひたまふな。戀は理窟を教誡師にはすれども、相談役にはせぬ者なり。君も今は若からず、僕將た然り。それ、そこに先づ同感存す。君も陽氣、僕も陽氣。はッ！ はッ！ すな

はちそこに一層の同感あり。君も酒が好き、僕もまた好き。君よ、これ以上の同感を望み得べく思ひたまふや？ ページ夫人よ、若し武士に戀はるゝを以て足れりとせば、只戀ふといふを以て足れりとしたまへ。僕は憫みたまへとは言はず、然るは武士らしからぬ言葉なればなり。只言ふ、愛したまひてよと。

晝夜を、あらゆる光りを

誓ひに掛け、命を掛け、

力限り、君を護る

君が忠實の勳爵士、

ジョン・フォールスタッフより。

まア、何といふ賈ひへロッドだらう！(大口を叩く高慢爺たらう！) 酷い世の中になつたわねえ！ よぼくになりかゝつてゐるお爺さんの癖に年若の

色事師氣取り！ 酔ッぱらひのオランダ人め、ほんとにまア、わたしの仕打のどんなどこを浮氣らしいと見て取つて、勘ちがへをしたんだらう、こんな無作法を働くとは？ 三度とは一しよになりやしなかつたのに！ 何もいはう筈がない！ あの時わたし浮かれちやあなかつた。神さま、おゆるし下さい！ いつそ國會へ肥ッちやうの取締案制定願ひといふのを出させようか知らん。どうしたら此仕返しが出来らう？ あいつのあの内臓が大腸詰でなくなることがあつたつて、わたし此仕返しをせずにおかない。

フォードの妻出る。

フォ妻 ページさんの奥さん！ 今わたしあなたのお宅へ伺はうとしてゐましたところなの。

ペー妻 わたしはまたあなたのとこへ伺はうとしてゐましたの……お顔色がわる

いわ、

フォ妻 いゝえ、そんな筈はありませんわ。 反對に、いゝ筈ですよ。

ペー妻 いゝえ、わるいやうに見えてよ。

フォ妻 ちや、さうでしょ。 けどもわたし、その反對だてことをお見せすることも出来ましてよ。 ねえ、ページさんの奥さん、智慧を貸して下さいね。

ペー妻 え、どうしたのです？

フォ妻 ねえ、あなた、わたし、ほんの詰らない或關係を無視しさへすれば、立派な身分になれるんですけれどもね。

ペー妻 ちや、その詰らん關係なんかおッぼり出して、立派な御身分におなりなさいね。 え、そりや何？……詰らんことなんかお構ひなさるなよ……どういふことなの？

フォ妻 地獄へ墮ちツちまふ氣なら、わたし勳士爵さまになれるの。

ペー妻

えッ？ 嘘をお吐きなさい！ 士爵アリス・フォードですつて！ 勳士爵も

フォ妻

おひくく下落してよ。だから、御身分をお換へにならんはうがい、わよ。冗談は止して（陽光が費える）。……さ、これを読んで下さい。わたしが勳士爵になれさうなわけがわかるから。わたし、此目で男の體附が見分けられる限り、もうく肥ッちやうは眞ツ平。けどもね、あの男平生は口ぎたない雑言もいはないし、貞淑は女の美德だと賞めてもわたし、無禮、無作法を合理らしく非難してもゐたんですから、わたし大丈夫言ふことゝ氣質と一致してるとばかり信じてましたの。ところが、どうでせう？ まるで讚美歌と緑袖節（スト、ン節）とほどのちがひよ。ほんとに、どの沖あひからの颯風で、あんな何頓といふ油をお肚に收れてる大鯨が此ウインゾアの濱なんかへ吹き寄せられたんでせう！ どうしたら此仕返しが出来るか知らん。一等いゝ法は、あいつの荒淫根性が自分の膏で煮えて溶けッちまふまで、

ペー妻

氣を持たせておくことだらうとわたし思ふわ。あなた、こんな例聞いたことがあつて？

（此間に自分のとフォードの艶書とを見比べてゐたが）一字もちがはないわ、ページとフォードと名がちがつてゐるばかり！ ねえ、わるい噂を立てられさうな

ところを、まア

あなたも御

安心よ。（とい

ひながら二通の

艶書をフォード

の妻にわたしたつ

つこゝに此

通り艶書の



双児がゐます。けどもあなたのが惣領よ。わたしは決して自分のにしません。あいつ、きつと斯ういふ艶書を千通も、いゝえ、それ以上もこしらへて、名あてだけを明けておくのですよ。……さうしてこりや第二版でせう。えゝ、きつと版にしておくのよ。出鱈目なことを摺り込ませるのですよ、現にわたしたちをさへ引き摺り込まうとしたのですもの。わたしあいつなんかに引き摺り込まれるくらゐなら、大女になつてペリオン山の下敷にでもなつたはうがいゝわ。鳩の淫亂なのが二十羽も見附かつた後でなけりや、浮氣でない男なんか一人だつて見附かりやしないのよ。
 (艶書をくらべ了つて) まあ、まるでおんなじよ。手も、書いてあることも。何だと思つてるんでせうわたしらを?

ペー妻

わからないさ。わたし斯うなると、自分の貞操を疑ひたくなるくらゐですもの。何だか自分を他人扱ひにしたくなりますの。でも、何かわたしが自

フオ妻

分で氣の附いてゐない浮氣らしさを、あいつが見附けたのでもなけりや、斯う亂暴に乗り込んで来る筈はありませんもの。
 乗り込んで来たとおつしやるの? なんの、わたし、あいつなんかを甲板へあがらせるものですか!

フオ妻

わたしだつてさ。あいつに艀口をくゞらせるやうなら、もう二度と海へは

ペー妻

出ません。ねえ、仕返してやりませうよ。出會ひ場所と日取をきめて、靡きさうに見せて、うまいことを言つて、さうして長く引ッ張つておきませう、あいつが困つて、ガーター館の亭主へ馬を質に取られツちまふ時分まで。

フオ妻

不貞操の疑ひさへかゝらなけりや、わたしどんなことだつてしますわ。宅の人に此艶書を見せてやりたい! いつまでもくゝいゝ嫉妬の種になるでせう。

ペー妻 (二方を見てあら、お宅のが見えましたよ。あるじと一しよに。あるじは妬くなんてことは決してないのよ、こつちも疑ぐられるわけではないのですけれど。

フォ妻 ほんとにあなたはお任せねえ。

ペー妻 ねえ、あの脂肪士爵を退治する相談をさせようよ。さア、いらつしやい。

二人は退る。

フォードはピストルと話しながら、ペーはニムと話しながら出る。

フォード いや、そんなことはあるまい、多分。

ピストル ホープてやつも斯ういふ事に掛けちや無能な獵犬でさ。士爵ジョンは慥かにあなたの奥さんに惚れてますよ。

ホープは獵犬には有りふれた名。そこで多分(よもや)と希望

を掛けたフォードの言葉を打消すために、ホープといふ獵犬も此道の秘事を嗅ぎ出す役には立たぬといつたのである。

フォード だつて、妻はもう若い女ぢやないから。

ピストル あの仁にや高いも卑いも金持ちも貧乏人も若いも年寄りもありやしません。めちやでさ。ぼろツ買ひですから。フォードさん、よくお考へなさいよ。

フォード わしの妻にかい？

ピストル 首ツたけです。どうかなさいよ、でないよ、昔話のアクチオン(希臘神話の獵師)のやうに獵犬におツかけられる鹿(角のある動物)にならんけりやなりませんぜ。あゝいふ役(角の生える役)はたまらないからねえ！

フォード え、どんな役？

ピストル 角さ。……さよなら。用心なさい、よく目を開けて。どろつくは夜ですか

らね。御用心なさい、夏にならねえうちにね、郭公めが啼き出さねえうちにね。……(ニムに)おい、ニムの伍長どの、往くぜ！……ねえ、ページさん、ニムのいふことは本當でござんすぜ。

ビストル入る。

郭公 *Guncho* は *Guncho* を連想させる鳥なので、妻に不義をされ
てゐる夫には禁物といふ意。

フォド

(傍白)じつと耐へてゐて、證據を見附けよう。

ニム

(ページに)ほんとの事ですよ。わたしは嘘で氣分は嫌ひだ。やつは或氣分の事でわたしを侮辱しやがったんですよ、でなければ其變ちき氣分の艶書をわたしがお内儀さんのとこへ持つてゆくとこだった。だが、わたしア武士だ、いざといふ時にや此劍を働かせにやらんです。……ねえ、お内儀さんに惚れてゐてイことが一切萬端ですよ。わたしの名は伍長のニムです。

わたしの口外した事に間違ひツこはないです。わたしの名はニムです。

フォールスタッフはお内儀さんに惚れてますよ。さよなら。……わたしは麵麩と乾酪的氣分てやつは好かねえです。そこに、それ、氣分があるんですよ。……さよなら。

ページ

又「氣分」だ！ あゝいふ男がイギリス語をまるで氣ちがひ言葉にしツちまふ。

フォド

(獨語的に)どうかしてフォールスタッフに逢ひたいものだ。

ページ

(同じく獨語的に)あんな緩漫い、氣取つた物いひをする男は見たことがない。

フォド

(なほ獨語的に)證據が擧りやア……むむ。

ページ

(やはり獨語的に)あんな支那漢(チャンク)のいふことを信するものかい、たとひ町の牧師さんが正直だと保證してよこしたからつて。

フォド

(なほ獨語をつけて)わけの解つた、いゝ男らしい。……むむ。

此うちにペーシは遠くにゐる妻を見附けて

ページ おい、メッダ(マーガレット)!

これにてペーシの妻とフォードの妻は前へ進む。

ペー妻 チョーヂ、どこへゆく、あなた? ねえ、あなた。

フォ妻 (フォードに) フランク、あなたどうなすつて? なぜそんなに忙しいでゐるんです?

です?

フォド ふさいでゐるツて! ふさいぢやゐないよ。……さ、お歸んなさい。

フォ妻 いゝえ、あなた、何か變なことを考へてるんでせう? ……ページさんの奥さん、いきませうか?

ん、いきませうか?

ペー妻 お伴します。チョーヂ、あなた、いらつしやるでせうね、食事には? (ふと一方

を見てフォードの妻に傍目) ね、あの向うから来るお内儀さんを、ねえ、あの人を悪黨武士のそこへ使ひにやりませう。

フォ妻 (同じく傍目) わたしもあの内儀さんをおもつてましたの。ちやうどようござんす。

ござんす。

クイックリー出る。

ペー妻 (クイックリーに) むすめのアンに逢ひに来たのですか?

クイク はい、さやうでございます。アン嬢さんは御機嫌よういらつしやいますか?

か?

ペー妻 さ、わたしたちと一しよにあつちへ来て、お逢ひなさい。いろくお話し

ることがありますから。

男だけを殘して皆入る。

ペー妻 (考へ込んでゐるフォードに) もし、フォードさん、どうしました?

フォド あいつがわたしに話したことを、あなた聞いてゐなすつたでせう?

ページ はい。あなたも、もう一人がわたしに話したことを、お聞きでせう?

フォド あれをほんとだと思ひますか？

ページ 大うそつきでさ、あいつら。あの士爵がそんなことをするだらうとは思はれませんか。われくの妻にあの男が野心云々と告げ口をしたあの二人は、放逐されたあの男の家來でさ、扶持に離れりや、からもう、悪黨でさ。

フォド あの男の家來だつたんですか？

ページ え、さうでした。

フォド それだつて、迎も安心は出来ない。

……あの男はガーター館に泊つ



てますか？

ページ あ、さうです。……若しやつが妻へ船を進めようとするのなら、一つ妻を手ばなして見ませう。怒鳴り附けられるぐらゐが落だと思ふが、萬一さうでなかつたら、それは此頭が證明することにして、(角を生やすまねをする)。

フォド わたしも妻を疑ひはしない。けれども二人を一しよにして見るなんぞは好もしくない。信じ過しといふことがあるからね。わたしは、頭にや何にも載ツけたくない。どうも此ま、ちや安心が出来ない。

ページ (二方を見て) あ、がなりやのガーター館の亭主がやつて来た。頭に酒が入つてゐるか、巾着に金が入つてゐるか、どちらかでなくちやア、あの男、あんな愉快さうな顔はしない筈だ……

ガーター館の亭主出る。

や、どうだね、御亭主！

亭主 (例の通り委細かまはず) や、これは、偽豪傑! (と言つたが、相手はページだと心附いて)、いや、あんたは紳士さんだが……(と来た方へ向いて) おうい、豪傑判事さん!

判事 シャロー出る。

シャロ

今行くところぢや、今。(ページを見て) や、今晚は、ページさん、御機嫌よう!

ページさん、一しよに往きませんかね? えい慰みがごわすよ。

亭主

ねえ、豪傑判事さん、話しておあげなさい。ねえ、偽豪傑、お話しなさいよ。

シャロ

ねえ、果し合ひがごわすよ、ウェールズの牧師の學士ヒューとフランスの醫士

のケイヤスとね。(と後は小聲で話しつゞける)。

フォド

ガーター館の御亭主、ちよいと。

と此間に亭主を別の處へ引ッばつてゆく。

亭主

え、偽豪傑、何でげす?

と二人は一隅で何かさゝやいてゐる。

シャロ

(ページに) 一しよに見に行きませんかね? いたづら好きの御亭が双方の武器しらべをしたでごわすが、たしか場處は双方へ異つたところを知らせたでごわす。といふのは、牧師は眞劍ぢやからでごわせう。そこで、その慰みたる所をお話するでごわす。

と又小聲になる。

亭主

(フォードに) あんたはあの士爵さんに、あの武人の客人に何か苦情でもあんなさるんぢやありませんかね?

フォド

いゝえ、なんにもありません。だがねえ、イスパニヤ酒の一盃ぐらゐは奢るからね、わたしをあの人に引き合せて下さい、名はブルックでことにしてね。ほんの戲謔にするんだが。

亭主

承知、偽豪傑。(と握手して) 出入御隨意でことにしまさ。ね、ようごせう? それからあんたの名はブルック。面白い人でさ、あの士爵は……殿さま、往

きましましよかね？

シャロ あゝ、往かう。

ページ (シャローに)あの醫者は細刃劔に掛けちやア中々達人だとか聞きましたぜ。
シャロ ヘッ！ 撃劔の事でごわすなら、まだいろ／＼お話があるでごわす。 昨今

は、とかく、距離だの、回轉突だの、腰下突だの、何のかのとやかましいが、
要するに、勇氣でごわすよ、ページさん。(胸を叩いて)これぢやく／＼。わしは、
其以前は、長い劔で以て大の男四人を、まるで鼠のやうに跳ね廻らせたこ
とがあつたでごわす。

亭主

ページ

(待ちかねて)おい／＼、小僧さんたち、おい／＼！ 移歩らうぢやないかね？
ゆきましょ。……だが、斬り合せるよりは怒鳴り合せてはうがい。

フォード

フォード だけ残りて皆入る。
ページめは抜けてゐるから、あの浮氣な妻を信じこ安心しきつてゐるが、

One night of love

第二場 ガーター館の一室

フォールスタッフとピストルと出る。

フォール 一片だつて貸さねえ。

ピストル ちやア、切取りで世を渡るより外にしやうがねえ。……ねえ、下働きをして、

おれはさう油断しちやゐられない。彼女ばページのところであの男と落ち
合つたんだ。その時何をしたか知れたもんぢやない。さうだ、調べて見
よう。フォールスタッフの様子を探るために姿を變へて。彼女が貞實であ
りや無駄骨ぢやないし、でなけりやいよく骨折がひがあるといふものだ。
入る。

いづれ償ふからぬ。

フォル

いけねえ、やい、此おれの面(信用)を、何度もく、抵當にさせて、それで黙つてゐてやつたんだぞ。汝と汝の合棒のニムの奴の命乞ひのために、おれは三度までも上役どもへ無理難題を持たんだ。でなかつたら汝らは夙に二疋の狸々のやうに鐵格子の中から覗いてやがつたんだ。おれは汝らを立派な、勇敢な武士だなんて上役共に誓言までしたんだから、其罰で地獄へ墮ちんけりやならねえ。ブリヂエットの妻女が扇子の柄を失した時なんかも、決して汝は持つちやアゐねえと、おれが此名譽を楯に辯護してやつたんだ。

ビスト

(不平さうに)おまひだつて分け前を取つてるぢやアねえか? そら、五片やつたらう?

フォル

(空うそぶいて)道理を考へて見ろ、道理を。悪黨め、ロハで命掛けの仕事が出

来るか? つまり、もう絡み附くなといふんだ。おれは汝の首絞臺ぢやア

ねえ。うせろ、雜沓小刀野郎(掏摸)め! ビックハッチのうぬらが領分へ往

け! うせろ! 悪黨めが、手紙を持つてかうともしやがらねえ! 何だ、

名譽を重んじる! 下司野郎の骨頂めらが! 名譽を重んじてことは俺

にだつて辛とだ。お、お、おれですら、どうかすると、止むを得ん時にや、名

譽や怖い神さまを一寸見えんとこへ方附けておいて、くすねたり、ちよろ

まかしたり、もぐり込んだりしたくならア。それなのに、悪黨、汝らのその

襪褌着物が、その山猫づらが、其赤格子言葉が、その持前の惡體もく體が、

うぬらの名譽なんかで隠せると思やアがるか! 駄目なこつた!

ビスト

(へこたれて)わかるかつた。……かういや文句はなからう。

フォル

(そつぽを向いて)いゝから、往けく。もういゝ。

侍童ロビン出る。

ロビン 女の人^{をんなひと}が今^{いま}来^きます、お目^めにかゝりたいつて。

フォル (物體らしく) こゝへ通^{とほ}せ。

かういつてぬるうちにクイックリーの後家^{ごけ}出る。

クイク (馬鹿丁寧^{ばかていねい}に) お早^{はや}うございますでございませう。

フォル お早^{はや}う、おかみさん。

クイク ……ぢやアございませんでございませうよ。

フォル ぢや、娘^{むすめ}さんかね。

クイク はい、その通^{とほ}りでございませう。母^{はは}もさよでございませう、手前^{てまへ}が生^うれま

す其間際^{そのまぎは}までばね。

フォル いかさま。……何かおれに用^{よう}かい?

クイク 一言^{ひとこと}、二言^{ふたこと}申し上げたいことがございませうでございませう。

フォル (ますく物體らしく氣取^{きと}つて) いや、千言^{せんげん}でも二千言^{せんげん}でも苦^{くる}しくない。

クイク え、フォードさんと申^{まを}します方^{かた}のお内儀^{ないぎ}さんが……(ピストルを尻目^{しりめ}にかけて)

もし、もつとこつちへお寄^より下^{くだ}さいまして……手前^{てまへ}はケイヤス先生^{せんせい}と申^{まを}しますお醫^い者^{しや}さんのとこにをりますものでございませうが……

フォル ふむ、そこで。そのフォードといふ人^{ひと}の妻^{かみ}女^{さん}が……

クイク はい、おつしやります通^{とほ}りでございませう……どうぞもう少^{せう}々^くこつちへお出^いで下^{くだ}さいませう。

フォル 大丈夫^{だいぢやうぶ}、だれも聞^きいてやしないよ。……おれの家^け來^{らい}ばかりだ、みんな、

クイク まア、お家^け來^{らい}さまでございませうか? どうぞ神^{かみ}さま、あのお人^{ひと}達^{たち}をお惠^{めぐ}み下^{くだ}さいまして、此^{この}お方^{かた}さまの御家^{ごけ}來^{らい}になさいませうやうに!

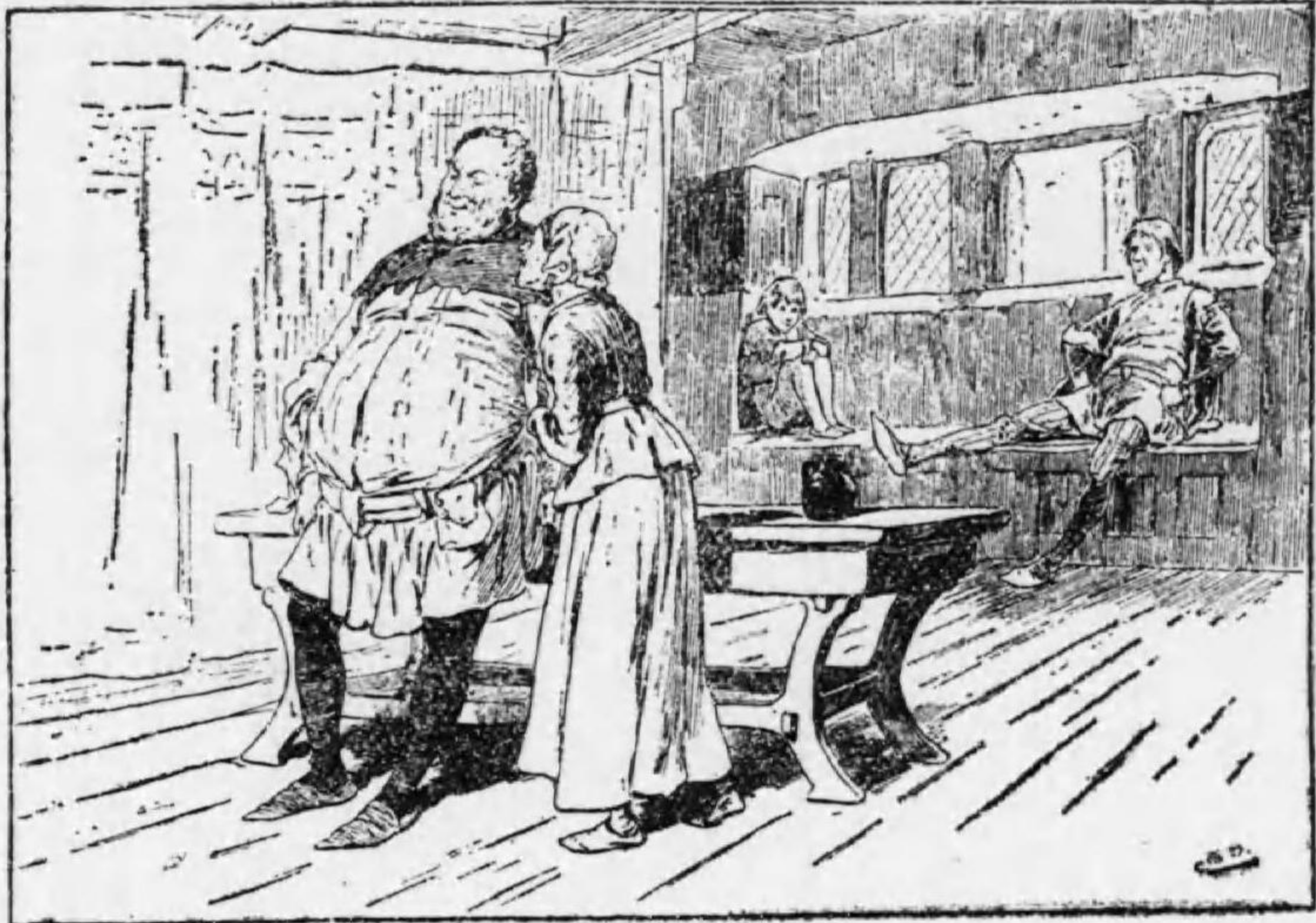
フォル そこで、その妻^{かみ}女^{さん}が……どうしたといふのだ?

クイク もし、あなたさま、そりやね、あの方^{かた}は、よいお方^{かた}でございませうでね。……ほんにまア、あなたさまは、ほんとにお性^{しやう}惡^{わる}でいらつしやいますよ! あ、

どうぞ神さまがお赦し遊ばしますやうに、あなたさまをも、わたくしどもをも！

フォル そのフォードの妻女が……おい、フォードの妻女がどうしたといふのだ？
クイク はい、その、つまり、斯うなんでございますのよ。あなたさまの故であるお

方がおツそろしくうツちやツてんになつておいでなのでございますの。
このウインゾアに、御行在所がございました時分の第一等のお役人様だつて、あのお方をあううツちやツてんにすることは出来なかつたのでございます。その癖士爵方も、貴族がたも、紳士がたも、めいめいお馬車に召していらつしやいましてね、お艶書だの、御進物だの、どなたもくくい、香ひがしましてねえ、シュー〜いふ絹やら金やら、それはくく空雅な、お品のいい。それから最上等のおいしいお酒だの、どんな女だつて、ころりと参りさうな物ばかりでございましたけれども、それでも、ほんとに只の一度だつ



て、いゝ目附を見せてお貰ひになつた方はございますませんでしたの。わたし今朝二十エンゼル(十志)貰ひましたですよ、けれどもねエンゼルなんかは七里けつぱいでございます、斯ういふ事の爲にはね……正路な事でございませぬければね。ほんの事でございませぬよ、其中の一等威張つてた方だつて、酒盃に只ちよつとあの方にお口を附けさせなされることさへ出来なかつたんでございますよ。でも其中にや伯爵がたや、いゝえ、お直参がたがいらつしやいましたのです。けれどもあの方

に取つちやア、二束三文なのですの。

フォル だが、其妻女が俺に何といふのだ？ 早くいつてくれ、え、女マーキュリー。

クイク あなたさまのお艶書をお受取りになりますと、千たびもあなたにお禮をお

つしやいましてね、あなたへ御報告を申し上げてくれ、あるじは十時と十

一時の間は不在でございませう、と斯うおつしやいました。

フォル 十時と十一時の間？

クイク はい、さやうでございませう。その時刻にお出でなさいまして、あの御案内

の畫を御覽になるやうにと申されます。御亭主のフォードさんはお不在

になります。あゝ、あゝ、あのお内儀さんはお氣の毒でございませうの、御

亭主が嫉妬家でございませうからね。しよつちう辛氣くさい思ひをしてお

いでなさるんでございませうよ、お氣の毒に。

フォル 十時と十一時。よろしくいつてくれ。きつと往く。

クイク けつこうでございませう。ですが、もう一つあなた様へ御轉言がございま

す。ページさんのお内儀からもくれぐれよろしくと申されます。お耳に

入れておきますがね、あの方も温淑な、朝晩お祈りをお缺かしなすつたこ

とのない、信心にかけてはウインゾアのだれにも負けない、びッ徳に富んだ

お内儀でございませう。あの方があなたさまへおつしやいます、御亭主は容

易にお出かけにはなりませんけれど、其うちにはお留守の事もありませう

と。男に惚れるたつて、あんなのは見たことがございませう。きつとあ

なたは何かおまじなひでも遊ばすんでせう、きつと。

フォル (大得意で) そんなことはしやしない。持つて生れた愛嬌の外に、おれがどう

いふまじなひをするもんか。

クイク ま、有りがたいお心だてでございませう！

フォル 時に、聞いておきたいことがある、そのフォードの妻女とページの妻女とは、

クイク

お互ひに知り合つてるかい、おれに惚れてることを？

それこそ面白いでございませうよ！ でも、まさか、それほど神さまに見捨てられたお人達ぢやアないでござんせう。それこそいゝ悪戯でございませうけどもね！ それはさうと、ページさんのお内儀は、あんたのお小奴さんを、後生でございますから、およこし下さいますやうにと申されます。御亭主があのお小奴さんが逆も氣に入つてゐるのでございませうからッて。ページさんは、ほんとに、よい方でございます。ウインゾアちうのお内儀さんで、あのお内儀さんほど好い日を送つてゐる方はありやしません。何でもしたたい放題、言ひたい放題、取るも拂ふもお望み次第、寝たい時に寝て、起きたい時に起きて、何でも思ひ通りでございますの。又さうなすつて當然なのです、ウインゾア切つて親切な方でございませうもの。お小僧さんをお遣はしなさいまし。是ッ非。

フォル

ちや、やることにしよう。

クイク

是ッ非さうなさいまし。さうしてお小僧さんをお二人の間のお使ひ番にね。さうしていつでも何か合ひ言葉でお話をなさいまし、お小僧さんには何にもお知らせなさいませんでね。子供にやわるいとは聞かせないはうがよござんすから。年寄りには世間を知つてますし、分別がありますけどもね。

フォル

ちや、さよなら。二人へよろしくいつてくれ。(貨幣を幾らか出して)さ、これを、

これちや足らんがね。……小僧、あの人と一しよにゆけ。……

クイククリーとロビン入る。

ピスト

(相格をくづして) 今の話を聞いたので、うれしくツて、たまらねえや！ (すつと離れて居て傍白) あの小艇も(賣女も) キュービッドの使ひだ。もつと帆を殖して追ッかけろ。楯布を持ち出せ、ズドーンとやれ、こつちへ捕るか、海

へ沈めるかだ！（と入る）。

フォル （なほ獨語をつゞけて）え、ジャックさん、さういふ御境遇かい君は？ さ、おやんなさい。今まで以上に君の御老體を利用し奉らんけりやならんよ。ちや、まだ奴らに思はれる御資格があるんだね君は！ ぞんぶん浪費をした癖に、また儲けるのか？ いやはや、お達者なお體さまだ。世間ちやア汚穢え行爲だといふだらうが、手綺麗にやらかしやア、かまつたことアねえ。

バードルフが館の給仕人の資格で出る。

バード 士爵ジョン、ブルックで男が、あんたさんにお目にかゝつて、お近づきになりたいといつて、朝酒を一獻だけ持つて來ました。

フォル ブルックといふ名の男か？

バード さうです。

フォル こつちへ通せ。（バードルフ入る）。ヘッ！ 酒を漲らす小河なら大歡迎だ。へ

へ！ フォードの嬢とページの嬢と、まんまと二人とも占めたかな？ さア、來い！

バードルフに案内されて、まるで見ちがへるやうに變装したフォルドが出る。

フォルド 御機嫌よろしう！

フォル （大様に）君にも！……何か用ですかね？

フォルド 突然に伺ひまして、失禮でございませうが。

フォル ようこそ。何の用ですか？……さがつてくれ、給仕人。

バードルフ入る。

フォルド 手前は随分金も費ひました旦那株の者でございませう。

フォル ブルックさんとやら、どうか以後お心易う。

フォルド それは手前からこそお願い申しますことと。しかし、お物入りなぞは決し

ておさせ申しません、どうやら手前のはうが貸し方には向きさうに存ぜられますから。實はさやう存しましたので、失禮を顧みず、突然推参いたしましたのでございます、「金が先手になれば向うに前なし」とやら申しますから。

フォル

さやう、金は勇士だよ、いつでも勝つよ。

フォド

全く。そこで、こゝに只今手前が荷厄介にしてをりまする重い財布がございませぬ。これをあなたに、半分なり全部なりお持ちを願ひたいもので、さうなれば手前は大助かりです。

フォル

どういふわけでそれをわたしに持たして下さるのだ、そのいはれが解せない。

フォド

お聞き下さるなら、お話しませう。

フォル

ブルックさん、どうか聞かして下さい。喜んで御用を勤めようから。

フォド

え、實は、學者であらつしやると承はりまして、とうから……簡短に申しますが……お名前も存じてをりまして、お近づきになりたいと存じながら、今日まで其機會を得ませんでした。さて、お話したのは、手前自身の愚を御吹聴するに過ぎないのでございますが、どうか其話をお聞きの間、一方のお目で手前の愚を御覽になると同時に、一方のお目では御自身の御経験の記録をお読み返しになりますやうに。すれば、幾らか手前の罪が軽くなります、人てイ者は、とかく不埒をなし易いものでイことがお解りになりませうから。

フォル

よろしい。お始めなさい。

フォド

え、此町に或中流以上の婦人がをります。其亭主の名はフォードと申します。

フォル

なるほど。

フォド

久しく手前は其婦人に思ひをかけたしまして、實際、随分物も遣はしました。惚れぬいて、惚れぬいて、どうかして會談の機會を得たいものと、ほんの聊かでも會見することが出來さうな場合には、金で其機會を買ひ、いろいろ進物を贈りましたばかりでなく、女の心が知りたさに、多勢の者に惜げなく物をやりました。つまり、わたしは、戀がわたしを追ッかけると同じに、女を追ッかけました。わたしの戀には始終翼が生えてゐたのです。けれども、どんなに心を勞しても、金をつかつて、何の報酬も得られなかつたのです。非常に高い割合ひで買ひました失敗の經驗以外には。さうして其經驗は、斯ういふ文句を教へたに過ぎませんのです。

金が後追や戀は影と逃げる、

逃げりやおはへる、おはへりや逃げる。

フォル

望みの叶ひさうな口約束もせなかつたのかい？

フォド

つひぞしませんでした。

フォル

そこまで切り込んだことはなかつたんだね？

フォド

なかつたのです。

フォル

ぢやア、どんな風の關係だつたんだね？

フォド

他人の地面へ立派な家を建てたやうなものでした。建て場所がわるかつたので、建物を損しツちまつたのです。

フォル

で、それをわたしに打明けてお話をすつた目的は？

フォド

これだけお話ししてしまへば、もう何もかもお話ししたわけです。其女は、わたしの前では、いかにも貞淑さうにしてゐますが、餘所ぢや随分ふざけぢらすといふ世間の悪評もあります。そこで、ジョン士爵さん、肝腎の事といふのは斯うです。あなたは立派な御教養のお方で、御辯舌といひ、御信用といひ、お地位といひ、御身分といひ、世間一般、あなたは實に武人らしい、

お役人らしい、學者らしいお方だと認めてゐます。

フォル

いやどうも！

フォド

いゝえ、全くです、これは御承知の事です。さ、どうか此金は構はずお使ひ下さい。もつとでも差出します。手前の有つてをりますだけをお使ひ下さい。たゞ其代り、あなたにお暇をつぶさせ、あなたのお力を借りて、あのフォードの妻を攻め落したのでございます。お腕を揮つて口説いて見て下さい。諾といはせて見て下さい。落ちる女である以上、きつと成功なさいます。

フォル

君が夢中になつて惚れてゐる女をわしが手に入れて、それであなたの心が濟むかい？ あんたは何だか間違つた處方箋を書いてゐるやうだぜ。

フォド

まア、よくわたくしの目的をお呑みみなすつて下さい。あの女は、平生いかににも貞女らしく取濟してゐますから、とても明けすけに淫らなことなん



フォル

か言ひ出せやしません。太陽にでも對つたやうに眩しいのです。ところが、若し奴の或弱點を掴り得たとなりや、もう遠慮はないから、それを捉處にして、ぐんぐん責めて、今は難攻不落とも見えてゐる貞潔だとか、名譽だとか、結婚の誓約だとか、其他百も千もある外郭、内郭をみんな攻め落してしまひまア。といふ手前の案はどうでござんせう？

ブルックさん、ぢや、先づ遠慮なしに、

此金を貰ふことにします。次ぎに、斯うお手を。(と握手して)最後に、わしは紳士だから、確かに約束するが、君が若しお望みなら、そのフォードの妻を御自分の物になさい。

フォード いや、どうも有りがたう!

フォード きつとさうさせるよ。

フォード 金は幾らでも出します。御不自由はさせません。

フォード いや、ブルックさん、フォードの妻はきつとあんたの自由にさせるよ。決して不自由はさせせんよ。實はね、先方から言ひ込んで来て、今夜其女に會ふことになつてゐる。ちやうどあんたが入つて来た時に、彼女の手助けをする女だか、媒介婆だか知らんが、こゝから出ていつた。十時と十一時の間に會ふ筈だ。其時間に嫉妬家の祿でなしの亭主野郎が外出するといふのでね。今夜わしのとこへおいでなさい。其結果を話さうから。

フォード (會釋して)お近づきになつたのは仕合せでした。……フォードといふ男は御存じですか?

フォード 笑止な、間男され野郎め! 知るものかね! いや、しかし其おめでた野郎の嫉妬家め、金だけはたんまり有つてるさうだ。それで以て嬢の顔がおれに美しく見えたのかも知れん。おれは女を鍵にして、あのおめでた野郎の金箱を開けようてんだ。そこにこつちの收穫があるんだ。

フォード フォードを知つておいで、すとい、にねえ、やつに見附からないやうになさるには。

フォード あんな鹽牛酪くらひの職工野郎! おれが一睨みすりや氣がちがツちまふだらう。なに、棒でおどかしつけてくれる、あのおめでた野郎の角の上へ光り物のやうに揮り廻してくれる。ブルックさん、あの百姓なんか一みじきにして、きつと君を彼れの嬢と寝させるよ。夜になつたら早くおい

でなさい。フォードは悪黨だ、おれはそれに別の名をくれてやる。ブルックさん、悪黨でもあり、おめでたでもあるといふことにしてくれよ。夜になつたら早くおいでなさい。

フォールスタッフ 入る。

フォード

(あとを見送つて) 何て淫亂な、罰當りの悪黨だあいつは!……もうくたまたらない、此胸が裂けさうだ。どうしてこれが無考への嫉妬だといへる? 妻が現に使ひをよこして、時間まで定めて、出逢ひの約束が出来てゐる。

こんなことがあらうとはだれが思はう? 「美しい妻を有つてるのは地獄だ」といふのはこれだ! 寢床は踏み荒される、金箱は引掻き廻される、名譽は傷附けられる。さういふ酷い辱めを受ける上に、其辱める當人から耐らない醜名を呼ばれにやならない。醜名を! いやな名を!……アメイメンのはうがまだいゝ。ルーシファーでもパートバスンでもまだまし

だ。地獄の悪魔の名だけれども。だが、カッコルド(間男される亭主)! ウィットル(おめでた男)!……悪魔にもカッコルドなんて名はないのに。……ページめは大馬鹿だ。馬鹿安心をしてゐやがる。嬢を信じ切つて些とも疑はないのである。おれは、妻を一人ぼつちにしておくくらゐなら、大切の牛酪をオランダ人に、おれの乾酪を牧師のヒューに、おれのウイスキーをアイランド人に、おれの乗馬を盜賊に任せツきりにしたはうがまだしも安心だ。一りぼつちだと、いろんなことを考へもすりや目論みもする。さうして考へたことは行つて見なくなつて、さんく氣を揉む。おれが疑ひ深くつて仕合せ!……十一時だ。よし、邪魔をして、現場をとつちめて、フォールスタッフの奴に仕返しをして、ページめを笑つてくれる。どれ、とりかゝらう。早くなるのは二時間でも三時間でもいゝが、一分でも延びるのはいやだ。……あゝ、たまらない、カッコルド! カッコルド! カッコルド!

はひ
入る。

第三場 ウインゾアに近き原

醫士 ケイヤスと其僕 ログビー出る。

ケイヤ ジャック・ログビー！

ログ へい？

ケイヤ やい、いま何時？

ログ ヒューさんがやつて来る筈の時間は、もう過ぎてます。

ケイヤ *By your* やつ来ない、命びろひしました。やつ来ない、聖書おかげ。
By your ジャック・ログビー、やつ来る、もう先刻死にました。

ログ へい、あの人は伶俐者ですよ。やつて来りやあなたに殺されますからね

ケイヤ *By your* 鯉死んだ、それ以上、わたし奴殺す、ありました。やい、ジャック、

細刀剣取るよろしい。やつ殺す仕方、わたし今をしへます。

ログ とんでもない！ わたくしア剣術ア知りません。

ケイヤ 野郎！ 剣取るよろしい。

剣を抜きかける。

ログ ま、まつて下さいまし。(一方を見て) 人が来ましたから。

ガーター館の亭主と判事シャローとスレンダーとページと出る。

亭主 (ケイヤスに) や、僞豪傑、御機嫌よう！

シャロ (やはりケイヤスに) や、御健勝で、ドクター・ケイヤス先生！

スレン (これもケイヤスに) お早うございます。

ケイヤ (一同に) なにゆるゑ、あなたうち、一人、二人、三人、四人、みんな揃つて、こゝへ来るありますか?

亭主

決闘を拜見に來たんです、あなたが突きや受けや出たり引込んだりや撃や貫通や逆突や距離や拜み撃をおやんなさるのを見に來たのです。ねえ、黒人さん、あの人はもう死んだのですか? え、フランシスコさん、大將はもう死んだのですか? え、僞豪傑? おい、お醫者の神さま、ガレンさん、接骨樹の心さん(弱蟲さん)? え、小便豪傑、大將は死んだんですか? え?

「小便豪傑」とは醫師を嘲る語、尿の検査を職とするが故である。

ケイヤ

By your way、やつ、逆も、非常に臆病、卑怯牧師あります。顔出しせないあります。

亭主

あなたは全くカスターリヤ王の尿壺さまですよ。ギリシヤのヘクターです。

よ、君は!

ケイヤ

諸君、證人になる頼みます、わたし六時間、いゝえ、七時間、二、三時間やつ来る待ちました。でもやつ来るありません。

シャロ

先生、あの仁はあなたより偉いですよ、靈魂の療治屋でござすから。あなたは肉體の療治家でござせう、だから決闘をなすつちやアお職業柄と矛盾するでござす。ねえ、さうでござせう、ページさん。

ページ

いや、決闘に掛けちやア、シャローさん、あなた御自身が達人でおあんなすつたのでせう、今は平和主義にお成りになつてゐますが。

シャロ

(得意げに) 事實、ページさん、もう古いこんで平和主義ではござすが、今でも抜き刃を見ると仲間入りがしたくなるですよ。判事だつて、醫者だつて、僧侶だつて、ページさん、生きとる限りは、血氣が残つとりますからね。そこが人間でござすよ、ページさん。

ページ いかにも。

シヤロ さうしたもんでござすよ。……ケイヤス先生、わしはあんたをお迎へに來たです。わしは飽迄も平和主義でござす。あんたも賢明なお醫者らしく行動されたですが、ヒューさんも賢明な、忍耐づよい僧侶らしく行動されたと思ふでござす。先生、是非おいで下さい。

亭主 判事さんの旦那、失禮。(と突然横合から口を出して、ケイヤスに) 小水さん、ちよいと。

ケイヤ 小水! それ、意味、何ありますか?

亭主 小水てのは、英語で、勇氣てことです、僞豪傑。

ケイヤ *By gas!* では、わたし、小水たくさん、どのイギリス人負けるありません。

亭主 ……あの犬ちき生、牧師野郎! *By gas!* わたしやつ、の耳切るあります。だが、僞豪傑、あの男アきつとあんたをとツちめますよ。

ケイヤ とツちめる! それ意味何あります?

亭主 といふのは、お金を出してあんたに詫びるだらうてことです。

ケイヤ *By gas!* わたし奴金出してわびる思つてゐるあります。それわたし取るあります。

亭主 わたしあの男に勧めてさうさせます。せなけりや勝手に移歩らせるさ。

ケイヤ ありがと〜。

亭主 それからねえ、僞豪傑……しかしそれより先きに(と傍白的に)お客人さん、ページさん、スレンダーの御大將さん、フログモアへ往つて下さいよ、町の方から。

ページ ヒューさんは、あそこにもいますか?

亭主 え、ゐます。どんな氣分でもいますか見て下さい。わたしは原をぬけて、ドクターをつれて往きますから。ね、さうすりやようござせう?

シャロ よろしい。

ペイロジ (ケイヤスに) 先生、さよなら。

ページ、シャロー、スレンダー
はひ 入る。

ケイヤ

Bye-bye! わたしあの牧師殺す
すあります。やつアン・ページ
の事、猿野郎のため口きく、憎
いあります。

亭主

やツつけなさい、短氣を鞘に收
め、怒りに冷水をぶツかけてね。
御一しよに原を廻つてフログ
モーアを通りませう。アン・ペ



ケイ

ージさんが或農家で、御馳走を食べておますから、そこへあなたを御案内
内しませう。あそこで直談判をなさいよ。ね、圖星てイ妙案でござせう?
バイ・ガー! ありがとう。バイ・ガー! わたしあなた迎も好き。わ
たし良いお客さん澤山紹介するあります、伯爵や士爵や貴族さんや紳士さ
ん、みんなわたし患者

亭主

ケイヤ

ケイヤ

みな入る。

* * * * *

第三幕

第一場 フログモア附近の原

牧師ヒュー・エヴァンスが手に武器を携へ、決闘準備の身軽な扮装をして、スレンダールの僕シンプルと共に出る。

エヴァン もしく、スレンダールさんの御家來、あなたの名はシンプルさんでしたねえ、あなたはどつちの方を見てゐて下されたかね、あの醫士と自稱するケイヤスのやつて來るのを見るのに？

シンプル さア、ビットの方もパークの方も、あつちもこつちも見てましたよ、元ウイン

エヴァン ズア道もね、町道の他は、どこもかも。

エヴァン あ、その町道の方を、見て貰ひたかつたですなえ。

シンプル ちや、見て來ませう。

シンプル 入る。

エヴァン あゝく！ かんしよく（痛癢）が起つてならん。神經のぜん動（頭動）を禁ずることが出來ん……欺してくれたのだと有りがたいが……あゝ、どうも沈鬱的だ！……尿壺をあいつの金柑頭へ叩きつけてくれう、うまい具合に行きやア……あゝく！（心の焦燥を紛すために歌ふ）

浅い河瀬へ、その瀬の音に

つれて小鳥が野邊の歌うたふ。

そこに花壇を造りて住まむ

薔薇や千草の花かぐはしき。

浅い河瀬へ……

あゝ、なさけない！ わめきたうなつて来た。哭きたい。(又歌ふ)。

つれて小鳥が野邊の歌うたふ。

パピロ(パピロン)の町に住みしころ……

薔薇や地草の花いろくに。

浅い河瀬へ……

シンブ 先生、あそこへあの人がやつて來ます。

エヴン (平氣を繕つて) ありがたい。……(といつたが、いよくそわくして、それを紛らさうと

又歌ふ)。

浅い河瀬へ、その瀬の音に……

天よ、正しき者を護らせたまへ！……(シンプルに) どんな武器だね？

シンブ 武器なんか持つてませんよ。(一方を見て) あ、フログモーアの方から手前の主

エヴン 人とシャローさんともう一人他の方とが見えます、石礎を登つてこつちへ。そのわしの外套を下さい。でなきや持つて下さい。

ページ、シャロー、スレンダー 出る。

シャロ や、牧師さん！ お早うごわす。賭博家から幣子を取上げ、學者から書を

取上げる。こいつは不思議でごわすわい。

スレン (考へ込んで、傍白) あゝ、かはいゝアン・ページさん！

ページ ヒュー先生、御機嫌よろしう！

エヴン どなたも御神恵で御幸福でおありになるやうに！

シャロ え、牧師さん、劍も聖書もでごわすか！ どつちも御研究でごわすか？

ページ (エヴンスの扮装をつくく見て) まだ中々の御元氣ですねえ！ 此寒い、リョーマ

チを起し起い時候に、胴着と股引ばかりで。

エヴン いや、これには種々の理由や原因がありますです。

ページ 牧師さん、實は、わたしどもは、あなたにお盡し申すことがあつて來たので
す。

エワン なるほど。それは何でありますか？

ページ あちらにさる立派な紳士がをられますが、何でも或人から非常な侮辱を受
けたものらしく、まるで氣ちがひのやうになつてをられます、あんなに人
體を忘れて怒つてゐる人は恐らく御覽になつたことがありますまい。

シャロ わしはもう八十幾歳でござすが、あの位置、あの品格、あの學識の仁で、あ
れほど取亂いたのは聞いたこともござせん。

エワン だれでありますか其人は？

ページ 御存じでせう、醫士ケイヤスさんです。有名なフランス人のお醫者です。

エワン (勇者氣取て) あゝ、御神慮！ わたしが怖いからだな！ そんなお話よりは
菜粥一杯のお話のほうが優であります。

ページ なぜです？

エワン あの男はヒボクラテス(ヒボクラテス)もガレンも、知りやしません。の
みならず、悪黨であります。あんな卑怯者は到底容易に見出だし得られな
いです。

ページ (シャローに傍白)あの様子なら、大丈夫、やりませうよ。

スレン (周囲の動靜とは全く無關係に考へ込んでゐて、傍白) あゝ、かはいらしいアン・ペー
ジさん！

シャロ (ページに) さア、武器の様子ではね。……(一方を見て) あ、ケイヤスがやつて來
た。二人を引分けて下さい。

ガーター 館の亭主がケイヤスと其僕ロクビーを案内して出る。
ケイヤスとエヴァンスと顔を見合わせる。ケイヤスが氣込む。臆病
なエヴァンスはあわてゝ武器を取直す。

ページ (とめて) まゝ、牧師さん、武器をお控へなさい。

シヤロ (ケイヤスをとめて) 先生、ま、あなたも。

亭主 武器は取上げて、言ひ合ひをさせたはうがようござす。語は傷物になつたつてもいゝが、手足は満足にしときたいもんだ。

ケイヤ (エヴンスに) あなたに特別言ふことあります。なぜ約束通り来るありませんか？

エヴン (ケイヤスに、小聲で和めつゝ) ま、ま、こらへて下さいよ。まアさ。

ケイヤ (大きな聲で) バイ・ガー！ あなた卑怯もん、犬ちき生、猿野郎あります。

エヴン (なほ小聲で) ねえ、決闘すりや他の人たちの好い慰みになるに過ぎんです。

わたしはあなたに親睦を乞ふです。何等かの方法で謝罪もするです。 (大きな聲で) 尿壺を叩きつけますぞそのすツ頭へ、約束の時刻をなぜ守らなかつたです？

ケイヤ

(火のやうになつて) *Dieble* (おどれ！) …… ジャック・ログビー！ …… ジャーター館の御亭！ …… わたしやつ殺すため待ちばけする、なかつたですか？ 約束の場所わたし居るなかつたですか？

エヴン

(嚴肅に) わたしはキリスト信者であります。これ、よう御覽なさい、こゝが約束の場所ですぞ。ガーター館の御亭主に裁判して貰ひませう。

亭主

(双方を和めて) もう仲直り！ ガリヤ(ウエールズをいふ)にゴール(フランスをいふ)、フレンチさんにウエリシさん！ 靈魂屋さんに肉體屋さん！

ケイヤ

あゝ、それよろしい。けつこう。

亭主

ねえ、仲直り！ ガーター館の御亭のいふことをよくお聞きなさい。え、わたしは分別男でせう？ 如才ない男でせう？ 政略家でせう？ それでゐて大切のドクターを見殺しにされますか？ 否。ドクターは薬をくだされます、下痢を附けられます。牧師さんを見殺しにされますか？ 否。

先生は諺を教へられます、訛語を教へられます。さ、お手を、下界の先生。

(とケイヤスの手を取つて) さう。(とエグンスに) お手を、天上の先生。(と手を取つて) さう。(と双方を握手させて) ねえ、兩學者、實はわたしがあんたたちを欺したんですよ。わざつと場所を間違へさせたんだよ。兩君とも大勇士だった、身の皮に傷も附かず。此上は火入りのサケで仲直り。さ、此人たちの劍は質屋へやるべし。さ、さ、仲直りが済んだら、若い衆たち、こつちへ〜〜。

と先きに立つ。

シャロ

いや、實に、氣ちがひ御亭ぢや……さ、諸君、ついて行きませう。

スレン

(傍白) あゝ、かはいらしいアン・ページさん!

ケイヤスとエグンスだけを殘して皆入る。

ケイヤ

(亭主のあとを見送つて) や、さういふわけ? ではわたしたち、馬鹿にされるありましたか? や、や!

エワン

(獨語的に) まあよかつた。嘲弄物にされて却つてよかつた……(ケイヤスに) 以後は御親睦に願ひたいです。それから篤と御ぎやう議しまして、あの嘘つきの、下劣なガーター館の亭主に對する仕返しを考案しませう。

ケイヤ

バイ・ガー! 賛成あります。あの男、アン・ページゐる處つれてゆく言ひました。バイ・ガー! それやツぱり嘘ありました。

エワン

わたしはあいつの駄頭をなぐりつけてくれます。さ、おいで下さい。
と先きに立ち、二人とも入る。

第二場 ウインゾアの街頭

ページの妻と侍童ロビン出る。

ペー妻 いゝえ、先きへいらつしやい、小ちやい勇士さん。あなたはいつもはお伴役なのだけれど、けふは案内役よ。わたしの先きに立つて行くのと旦那の後についてゆくのと、どつちが好き？

ロビン そりや大人のやうにあんたの先きに立つてゆくほうがようござんす、小人のやうに旦那のお伴をするよりやア。

ペー妻 あら、お世辭ものねあんたは。きつと宮中のお役人になれてよ。

フォード 出る。

フォード おゝ、いゝところぞ。どちらへ？

ペー妻 奥さんにお目にかゝりたいと思ひましてね。お宅にいらつしやいますか？

フォード はい、話相手がないので、手持無沙汰に困つてゐますよ。あんたゝち二人は、若し亭主が死にや、一しよになりかねないね。

ペー妻 きつとさうよ。……新しい二人の御亭主とね。

フォード (ロビンを見て) どこでそんな可愛らしい風見車を拾つて來たのです？

ペー妻 夫が此子をお借りして來ました先方は、何て名の方だか覚えちやゐませんのよ。……(ロビンに) あんたの殿さまの名は何ていの？

ロビン ジョン・フォールスタッフ様です。

フォード え、ジョン・フォールスタッフさま！

ペー妻 さうく。わたしどうしても覚えられなくてよ。家の人とあの人とではうツてんばツてんですもの！……奥さんは、ほんとにお在宅？

フォード ほんとに在宅す。

ペー妻 ぢや、御免下さいまし。早くお目にかゝりたいのですから。
ペー妻の妻とロビン 入る。

フォード (獨語的に) ページの奴、腦があるのか？ 目があるのか？ 考へる力がある

か？ 目も何もかも眠てるのに相違ない。役にや立たんのだらう。……あの小僧めは艶書を十里先きへでも持つてゆかうて奴だ、百二十間は圖星の大砲彈のやうに。……ページめは嬪の悪い癖を募らせたり便宜を與へたりしてやがる。あの女今家の奴のそこへフオールスタッフのこの小僧をつれてやつてゆく。今にも一夕立やつて来るらしいぞ。フオールスタッフのこの小僧が一しよだ！ 何かうまい陰謀があるんだ。不實な女どもめ、一しよに不埒を働くんた。……さうだ。やつを引ッ捕へて、それから家の奴を懲して、あの貞女めかすページの嬪の假面を引ッばいで、ページめは自ら求めて被問男になつた大おめでたの二本棒だと吹聴してくれよう。此嚴罰に對しては、近所一帶不賛成を唱へる者はあるまい。(時計の音がする)。あの時計がきつかけだ。此くらゐ證據が擧つて見りや、奴あそこにおやがるに相違ない。フオールスタッフを取ッ捉まへてくれう。賞められると

も悪くいはれる筈はない。あそこにおゐることは大地の如くに確かだ。ゆかう。

ページ、シャロー、スレンダー、ガーター、館の亭主、牧師、ヒュー・エワンス、醫士、ケイマス、並びに其僕、ロクビー、出る。

シャロー
ページ
其他

フオド

や、フオードさん、いとところへ！
これは、お揃ひで。宅にお響應の準備があります。どうぞ一しよにおいでなすつて。

シャロ

スレン

シャロ

相濟まんこととごわすが、今日は伺へませんわい。
失禮ですが、僕も。僕らはアン嬢さんと會食をする約束をしたですよ。どんな大金に代へても、此約束は破られんです。
實は、その、アン・ページさんと従弟の、此スレンダー君との間の縁談が延び延びになつとつたでごわす、ところが、本日は其確答を聞くことになつとる

でござす。

スレン ページのおとうさん、多分あなたは、その、好意を持つて下さるでせうねえ。
ページ 然々。わたしは悉く賛成ですよ。ですがねえ、妻は、ケイヤス先生、全くあなた黨ですよ。

ケイヤ はい、Be your girl。あなた娘さんわたし好くあります。わたしの介抱人クイ
ックリー其噂します。

亭主 (ページに) フェントンの若旦那のはうはどうでげすね? 流行踊も舞踏も出
来て、男ぶりもいゝはうだし、詩も作る、餘所行き文句(警句)も喋舌る、麝香
をばお祭り気分には香はせる。あの男が攫つてゆきますよ。あの男のお手
の物でさ。きつと攫つてゆきますよ。

ページ いや、とにかく、わたしは不賛成です、無財産ですからね。それに例の仕
様のない王子さん(後のヘンリー五世)やポインスのお仲間になつてた人です

から。身分が高過ぎもするし、世間を知り過ぎてもあるさるし。あの人の
身代の綻びをわたしの資産で補綴らせようとは思はない。欲しけりや女
だけ連れてゆくが、わたしは財産はわたしの考へ次第だ。わたしは
不賛成だ。

フォド (一同に) ねえ、願ひです、どなたか来て下さい。御馳走をするばかりぢや
アない、面白いことがあるんですよ。惟物を見せますよ。ケイヤスさん、
是非来て下さい。ページさん、あなたも。ヒューさん、あなたも。

シャロ では、ごきげんよう! ページさんのところで縁談話をするのは、我輩らば
かりのほう都合がえい。

シャローとスレンダーと入る。

當時新大陸や東洋や南洋へ新たに航海が開けた結果、
いるの「惟物」を盛り場で見世物にした。各地の野蠻人や惟

黙などの見世物を指す。

亭主 さよなら、皆さん。わっしはこれから、フォールスタッフさんのところへいつて、一しよにカナリーを飲むんだ。

亭主 入る。

フォード (傍白) いや、多分おれのはうが先きに、きやつとパイプ・ワイン(四斗樽入り)の酒即ちカナリー(一)を飲むだらう……さうして奴を踊らせてくれる……(大きな聲で) 諸君、ゆきませう?

皆 ちや、お伴をしてその怪物を拜見ませう。

皆 入る。

「パイプ」には笛の義もある。で笛に合せて踊らせる如く、先づ、パイプ酒を飲ませておいて懲罰を加へ、ひっくりかへるやうな目に逢はせてくれるといふ意。

第三場 フォードの家の一室

フォードの妻とペーシの妻と出る。

フォード おい、ジョンや! おい、ロバート!

ペー妻 早く、早く! ……(フォードの妻に) 洗濯籠があつて?

フォード 大丈夫よ。……おうい、ロビンちゃんや!

下男のジョンとロバートが大きな籠を持って出る。

ペー妻 さ、さ、さ。

フォード こゝへそれをお置き。

ペー妻 お言ひつけなさいね。早くしなくちやいけないわ。

フォード ねえ、さつき言つた通り、ジョンもロバートもあの醸酒小屋のすぐ傍に控へ

てゐてね、わたしがだしぬけに呼んだら、出て来て、委細かまはず其籠を擔いで、大急ぎでグッチェット牧場の洗濯屋へ持つてつて、さうしてテムズ河のすぐ傍の泥溝へはうり込んでおくれ。

ペー妻 ねえ、ようござんすか？

フォ妻 もう何度もいひつけたんですの。大丈夫呑込んでますよ。……あつちへ往つて、呼んだら、すぐね。

下男 入る。

ペー妻 (二方を見て) ロビン坊が来てよ。

ロビン 出る。

フォ妻 おや、敏應ちゃん！ どうかして？

ロビン わたしの旦那のジョンさまがお宅の裏口へ見えまして、あなたにお會ひしたいと申されます。

ペー妻 お人形さんや、あなた何にも言やしなかつたらうね。

ロビン 然、大丈夫です。旦那はあなたが爰においでの際は知りません。さうして若しわたしがあなたに此事を告げるやうなら、永久の自由をくれるツて申されます。といふのは、すぐ放逐するといふのです。

ペー妻 あんたはい、子よ。黙つておいでだと着物が出来てよ。新しい胴着と細袴をこさへてあげるの。……ちや、わたし隠れませう。

フォ妻 おかくなさい。……(ロビンに) 御主人に、わたしツきりだとおいひ。(ロビン入る)。ペー妻の奥さん、きツかけを忘れないでね。

ペー妻 大丈夫よ。ぶまな劇をしたら、罵倒して下さい。

ペー妻の妻 入る。

フォ妻 ちや、やつつけよう。あの水ぶくれの脹満野郎、あの大西瓜の化物爺を目に逢はして、班鳩と樞鳥はどう異ふか教へてやりませう。

班鳩(turtle)は貞操の標章、樞鳥(heron)は不品行の女の異名。
フォールスタツフ出る。フォードの妻走り寄る。

フォール

(フォードの妻を掻き抱いて、氣取つて、古風な臺辭でも言ふやうに)「お、神聖なるわが寶玉よ、今こそ御身を我れ掌底に握り得つるか?」もうこれで死んでもいい。わたしは十分長生きをした。これで一生の大願が成就したんだ。こんな嬉しいことはない。

「お、神聖なる云々は當時の名士サー・フィリップ・シドニーの詩篇中の句である。

フォ妻

お、おなつかしいジョンさま!(とあまたれる)。

フォール

ねえ、奥さん、わたしは欺すことが出来ず、空ツ言をいふことが出来んですよ。かうなると、あ、あなたの御亭主がゐなくなればいゝといふやうな非道な願望が起るですよ。わたしはどんな偉い君侯の前でも公言します、わたしはあなたをわたしの令夫人にするですよ。

フォ妻

ま、ジョンさま! わたしがあなたの令夫人ですつて? さぞ見すばらしい令夫人が出来ませうねえ!

フォール

いや、フランスの宮中にだつて、あなたのやうな貴婦人はゐない、ゐるなら、見たいもんだ。ダイヤモンドを欺くてイのはあなたの目だ。あなたの其うつくしい弓形の額には、どんな髪飾でも似合ふよ、艦形でも、華大形でも、ゼニスの本場形でも。



フォ妻 あら、無地の手巾の外に、わたしの額に相應するものはありやしません。それすらもよくは似合ひませんの。

フォル とんでもない！ そんなことをおつしやると謀叛人ですぞ。あなたは完全な女官になれるよ。あなたが其しやんとした腰附で、半圓形の箍骨の大袴を穿いて、お歩きなすつたら、どんなに立派だらう！ あゝ、「わが敵運命」でなく、「自然」めがあなたの身方であつたら、とうにあなたは出世してゐたんだ。ねえ、美しいのを隠さうとしたつても駄目ですよ。

「わが敵運命」は當時の流行歌の一節。

フォ妻 どういたしまして。 とんでもないことです。

フォル ちやア、何がわたしをしてあなたを愛戀せしめたでせう？ それ、もうそれであなたに異常な特長のあることが分るぢやないですか？ ねえ、わたしは欺すことの出来ん性質だ。だから、あの男装した女のやうに氣取つ

た物言ひをして、五月祭乃至バックラースベリーの藥草店式よろしくて風に芬々匂はせてやつてくる連中のやうに、あゝのかうのと旨いとはいひ得ない。けれども一心にあなたを、只あなたを想つてゐる。さうしてあなたには、さう想はれるだけの資格があるんだ。

フォ妻 おだましますつちやいやよ。でもあなたは、ページの奥さんを好いておいでせう？

フォル さ、監獄の側を通るのも大好きだといへるだらう、石灰窯の煙ほどに嫌ひなあの女を好く位なら。

フォ妻 (しなだれて) ねえ、わたしがどんなにあなたを想つてゐるかは、神さまが御存じですの。(と反語的に) それは今に分りませう。

フォル その氣を變へないでゐて下さい。 さうなすつて當然な男だわたしは。

フォ妻 然、ほんとにさうよあなたは。 でなきやへとはり反語的に) わたしこんな氣に

なつちやアゐますまいよ。

ロビン

(奥にて)フォードさんの奥さん！ フォードさんの奥さん！ ページさんの奥さんが戸口までおいでになつて、汗を流して、はア〜いつて、氣ちがひのやうになつて、すぐあなたにお話爲たいことがあるツて。

フォル

(あわてゝ)會つちやまづい。此壁代の蔭へかくれてゐよう。

フォ妻

さうなさいまし。あの人は饒舌家ですから……

フォールスタツフ隠れる。

ページの妻とロビン出る。

ま、何事が出来たの？ どうしたのです？

ペー妻

お、フォードの奥さん、まア、とんだことをなさいましたわねえ！ 大變です、あなたの大恥ですよ、あなたの身の破滅ですよ。

フォ妻

まア！ どうしたのです、ページの奥さん？

ペー妻

あ〜、フォードの奥さん、あんなけつこうな御亭主をお持ちなすつていらつしやりながら、あなたはまア、疑られるやうなことをなさるてイのは！

フォ妻

疑られるやうなどんなことを？

ペー妻

疑られるやうなどんなことツて？ ま、呆れた！ わたしあなたを見ちがへてゐました！

フォ妻

まア、どうしたといふの？

ペー妻

お宅のが今こゝへいらつしやるのよ、ウインゾアちうのお役人衆をみんなつれて、あなたが御承知で、お宅の、お不在中にお引入れなすつた或方を探し出さうて爲に。あなたはもう破滅ですよ。

フォ妻

よもやそんなことは。

ペー妻

よもやそんなことは、隠し男なんかはとおつしやられるやうなら結構ですけれど！ ねえ、お宅のがウインゾアの人達を半數以上もつれて、今探しに

おいでのことはたしかなんですよ、ですからわたし大急ぎでお知らせに來たの。あなたが潔白ならわたし安心だけれど、若し情人がおいで、すなら早く逃しておしまひなさい。よ、早くよ。うろたへないでね、氣を落ちつけてよ。あなたの名譽にかゝはる事です。下手をすると一生の破滅ですよ。

フォ妻 どうしたらいゝでせう？ ねえ、あなた、實は一人あるお方が來ておいでなさるのです。わたし自身の恥はかまはないけれど、其方の御身分にかゝはると大變です。千ポンドや二千ポンドに換へても、其方をこゝからお逃し爲たい。

ペー妻 何ですなえ！ そんなことをいつてゐる場合ですかよ！ もうすぐお宅のにおいでなのですよ。早く外へ出す工夫をなさいよ。こゝにおいちやいけない。ほんとにわたし欺されてゐたわ！ あ、こゝに籠があるわ。その

方が並みの體格なら、この中へ這入れませう。そしたら其上へ汚れ物を投込んで、洗濯屋へやるものゝやうにして、でなきや……あゝ、ちやうど洗濯時です……男たちに吩咐けてダチエツト牧場へ持たせてやるといゝわ。大きい方だから、迎もそれへは這入れないわ。

フォル (壁代の中から出て來て) ま、見せて下さい、見せて下さい、とにかく見せて下さい……這入りませう……お友達のはれる通りに……這入りませう。

ペー妻 おや！ ジョン・フォールスタッフさま！ (と二通の手紙を出して) もし、こりやあなたのお手紙？

フォル (小聲で) わたしはあなたを想つてゐる……ねえ、逃して下さい……こん中へ這入りませう……決して此……

と辛うじて籠へ這込む。二人は其上へ遮二無二汚れ物を

かぶせる。

ペー妻 (ロビンに) ねえ、手傳つてもつと布をかぶせて頂戴よ旦那に……フォードの奥さん、男衆をお呼びなさい。……(フォールスタッフに) あんたはほんとに嘘つきね!

フォ妻 おうい、ジョンや!……ロバートや! ジョンや!……

ロビン 入る。

下男ら 出る。

此洗濯物を早く持つてつとくれ。……天秤棒は? ま、何をくづツかしてるの! 早くダチエット・ミードの洗濯屋へ持つてつとくれ。さ、早くよ。

フォード、ペー妻、ケイヤス並びに學士ヒュー・エヴンス 出る。

フォド さ、さ、諸君、こつちへへ。これが邪推であつたらお笑ひなさい。存分お笑ひなさい。馬鹿にされても仕方がない。……(籠を持ち出さうとする下男らに)

おい! どこへそれを持つてくんた?

下男ら 洗濯屋へまゐるのです。

フォ妻 (近寄らうとする夫を遮つて) どこへ持つてゆかうと、あなたに關係はないぢやありませんか?(反語的に) 洗濯の事なんか折角おせつかいなさいまし。

フォド 牡鹿だ! おれは其角が洗ひ落して貰ひたいのだ! あゝ、牡鹿、々々、々々! さうだ、牡鹿だ。たしかに牡鹿だ。しかもちやうど交際時てやつらしい。(このうち下男らは籠を擔いで入る)。諸君、わたしは昨夜妙な夢を見た。その話をしませう。こゝ、こゝに鍵があります。わたしの居間へ登つていつて探して下さい、見つけて下さい。きつと狐が穴から出て來ます。先づこゝの出口を塞ぎませう。(と扉をしめて) さ、おツ放して下さい。

ペー妻 フォードさん、ま、おしづかに。こりやあんまりです、あなた御自身の侮辱です。

フォード 全くです。……さ、諸君。今に面白い物が出て來ます。さ、諸君、こつちへ。
フォード 入る。

エヴン こりや迎も奇異的な氣分の格氣でありますよ。

ケイヤ バイ・ガー！ 是れわたし國流行りません。フランス人格氣しません。

ページ いや、とにかく従いていつて、どういふことになるか、見ませう。

男連みな入る。

ペー妻 (笑ひながら) 一舉兩得ですわねえ。

フォ妻 (同じく笑ひながら) 自分ながらどつちだか分らないわ、宅のを欺したのが面白いか、サー・ジョンを欺したのが面白いか？

ペー妻 あいつ、どんな心持をしたでせう、お宅のが其籠は何だとおたづねなすつた時に！

フォ妻 淨める必要のありさうな奴ね。ですから水中へ抛り込むのがちやうど

爲になるでせう。

ペー妻 助平爺の悪黨野郎！ あんな風の奴は、どいつもこいつもみんなあゝいふ目に逢はしてやりたいわ。

フォ妻 フォールスタッフがこゝへ來てゐることに就いては、宅のが何か特別に疑ぐる理由があるんでせうよ、つひぞこんなに酷く焼かれたことはないんですから。

ペー妻 謀りごとをして調べて見ませう。それからもつとフォールスタッフの奴に悪戯をしてやりませう。あいつの助平根性は中々こんなことぢやなほりさうにありませんもの。

フォ妻 ぢや、あの馬鹿後家さんのクイックリーを使ひにやつて、水へ抛り込んだ詫びをいはせて、さうして氣を持たせておいて、もう一度懲らしてやりませうか？

ペー妻 さうしませう。あした八時に迎ひにやりませう、お入れ合せをするからと
いつてね。

フォード、ペー妻、ケイヤス並びにエヴンス出る。

フォード (不審さうに) どうしても見つからない。やり得もしないことを、奴め法螺を
吹いてゐたのかな。

ペー妻 (フォードの妻に傍白) え、お聞きなすつて?

フォ妻 (わざとすれて夫に) あなた、随分よくして下さいますわねえわたしを。

フォード (どきまぎしながら) さア、全く。

フォ妻 (吹き出したいのをこらへて、大真面目に) 神さまがあなたをもつと正しい心立の方
になさいますやうに!

フォード (餘儀なげに) アーメン!

ペー妻 フォードさん、こんなことをなすつて、あなた御自身のお恥ぢやありません

か?

フォード いや、どうも。自業自得です。

エヴン 萬一にも此家の中に、座敷の中に、金箱の中に、押入れの中に、何者か潜
み居りまするなら、天よ、願はくは、大審判日に於て、手前の罪業をおゆる
されませい!

ケイヤス バイ・ガー! わたしも同じこと言ひます。きつと誰れも居ません。

ペー妻 おい、フォード君! 馬鹿々々しいにも程があるぢやアないかね! 一
體どんな悪魔に誘惑されて、こんな馬鹿げた想像を選しうしたんです?
わたしは、假令ウインゾア城の富が得られたつて、君の此氣ちがひめいた心
持にならうとは思はないね。

フォード わたしがわるかつた。それで今苦しんでゐます。

エヴン いや、良心の詰責を感じらるゝ筈ですよ。あんたの奥さんは五千人中にだ

つて、いや、五百人中にだつて、願望し得らるゝ限りの女ツ性であるですか
らねえ。

ケイヤ バイ・ガー！ さやう、あの人貞女あります。

フォド かうつと、御馳走をする筈でした。……さ、さ、園内へ。どうぞ御勘辨を。

かういふことをした仔細は、いづれ後ほどお話をしますから。（妻に）さ、お前
さんも。さ、ページの奥さん。……どうぞ御勘辨を。全く相濟まないこと
をしました。

ページ

諸君、さ、あつちへ参りませう。（皆に傍白）が、さんぐく笑つてやりませうよ。
……（フォードに）明日はわたしの處へ来て下さい、御一しよに朝食を喫して、
それから小鳥狩りに出掛けませう。わたしは良い鷹を有つてますから。
いかゞです？

フォド

はい、どんななことでも。

エワン

既にお一人御参加でするなら、手前は其二に参列するであります。

ケイヤ

第一の人ある、第二の人ある。では、わたし、第三なります。

「To make one」は英國の慣習語法では「其隨一人になる」即ち「仲間
間入りする」といふ意味になるのである。それを折々聞き
囁つてゐた田舎者のエワンスが、よせばよいに、ちよつと氣取
つて眞似ようとして變なことをいふのである。わが國で
も「隨一」を「第一」といふ意味に取違へてゐる人がある。ケイヤ
スが第三と言ふに至つては更に間違ひが擴大される。

フォド

ページさん、さ、どうぞ。

エワンスとケイヤスとは少し後れて歩きながら

エワン

（ケイヤスに）ねえ、どうぞ明日あの御亭の乞食野郎をやツつけることを御忘
念下さらんやうに。

ケイヤ

それ結構です。バイ・ガー！ 大賛成です。



エワン

(半分獨語的に) 乞食野郎め、さんぐく嘲弄しをつて、馬鹿にしをつて！
皆入る。

第四場 ページの家の一室

若紳士 フェントンとアン・ページと出る。

フェン

迎もお父さんには好かれないのです、ですからアンちゃんや、もうお父さんに聞けなんて言はないで下さい。

アン

ちや、わたしどうすりやいゝの？

フェン

あんた自身にならなけりやいけないのさ。お父さんの異議の第一はわたしの身分が高過ぎるといふことです。その次ぎは、わたしは使ひ過ぎの穴

埋めをお父さんの財産でしようとしてるんだといふこと。まだ其外に……わたしの過去の放蕩生活やわるい友達の事なんかを理由にして、あなたを愛するツてつても、それは單に一の財産としてあるに相違ないといはれるのです。

アン

それが本當なんでせう。

フェン

いゝえ。天よ、將來に於ては、決してさうでありませぬやうに！ そりやね、あなたを懇望した最初には、お父さんの財産が目的だつただけけれど、だん／＼あなたの値打が分つて、今ちやア金貨や金囊よりもすつと以上に、只あなたといふ寶物を貰ひたいとばかり思つてるんです。

アン

でもね、フエンソンさん、やッぱりお父さんに聞いて頂戴ね。お父さんが好いといはなけりやいけませんもの。何度も／＼下手に出て頼んで御覽になつてもいけなかつた時分には……(と言ひかけたが一方を見て)ねえ、こつちへ

いらつしやい！

と一隅へ退きて小聲で話す。

シャロー、スレンダー並びにクイックリーの後家出る。

シャロ

(フエンソンの居るのを見て)クイックリーさん、あの二人を引分けて下さい。從弟が直接に談ずるでござすから。

スレン

一か八かやつて見るです、冒險的であるですけれど。

シャロ

えいかい、うろたへんでね？

スレン

なアに、うろたへなんかはせんです。平氣です、併し只少し怖いです。

クイク

(アンにもしく)。スレンダーさんが何やらお話があるとおつしやいますよ。

アン

はい、只今。(傍目あれがお父さんの選んだ人だわ。あゝ、あんな見ツともない、いやアな人だつて立派に見えるのだわねえ、年に三百ポンドの收入が

あると！

クイク (フエントンに) フエントンさま、御機嫌さま！ ちよいとねえ、お話ししたいことが。

と引きとめて何かさゝやく。このうちにアンはスレンダーのぬる方へ進む。

シャロ (スレンダーに) やつてくるよ。さ、早く……おい、お前のお父さんてイのはだぜ！

スレン (アンを迎へて) アンさん、僕のお父さんてイのはね、それは従弟がよく知つてますからね、きつとあなたにをかしい話をするです。ねえ、シャローさん、アンさんにをかしい話をして下さい、僕の親爺が鶯鳥を二羽、罫から窃盗した話を。

シャロ (じれつたがつて) アンさんや、従弟はあなたを愛しとるです。

スレン はい、さうです。僕があなたを愛するのは、どの婦人を愛するに比しても劣らんです。

シャロ 従弟はあなたを貴婦人扱ひにするといつとるです。

スレン さうです、雨が降つても槍が降つても、敢て従士格を下らせることはないですよ。

シャロ あなたに百五十ポンドの財産を遺してあげるといつとるです。

アン (代るく両方から迫られて、返辭に困つて) シャローさん、どうぞあの方が御自身でおつしやいますやうに。

シャロ や、どうもありがとう！ さういつて下さると心強い……おい、従弟、アンさんが呼んどる。わしや失敬するぞ。

アン (さし向ひになりて) それで、あの、スレンダーさん……

スレン それで、え、アンさん……

アン あなたの御意志は？

スレン 僕の遺書！ おやく！ こりやどうもをかしいですねえ！ 僕はまだ幸

ひに遺書なんか書くに到りませんよ。そんな病的人間ぢやないですから
ね、幸ひに。

アン いゝえ、さうぢやあ

りませんの、わたし
をどう思つてと聞

くのです。

スレン 實際、僕自身として

は、あんたを殆どそ
の、全くその、何と
も思つちやゐない



です。あんたの父さんと僕の従弟とが言ひ出したことであるです。それが僕の運命と定れば、それでよし、でなかつたら、どうかさう定つた人が好運であるやうにと思ふです。僕よりもあの人達のはうが巧く話すですよ。お父さんに聞いたらえいでせう。(一方を見て) あ、あそこへお出で。

ページと其妻と出る。

ページ やア、スレンダーさん！ アンや、この方を大事におし。……(フエンソンを見附けて)おや、どうしたんだ？ 何の爲にフエンソンさんが來てるんだ？……

(フエンソンに)困りますねえ、さう常住わたしの家へおいでなすつちやア。さういつたぢやありませんか、吾女はもう方附けましたと。

フエン ページさん、さう御立腹なさらないで。

ペー妻 フエンソンさん、どうかもう吾女のとこへいらつしやいませんやうにね。

ページ あなたへはあげられないのですから。

フェン ねえ、どうかもう一應お聞きを願ひたいのです。

ページ いゝえ、もう承はるに及びません。……さ、どうぞシャローさん。さ、スレンダー、君もね。……フエントンさん、あなたはあんまりですよ、わたしの意見を御存じの癖に。

ページ、シャロー、スレンダー入る。

クイク (フエントンに小聲で) ページさんの奥さんにおつしやいよ。

フェン ページさんの奥さん。わたしは飽迄も正しい方法でお嬢さんに戀をしてるのです、攻撃も非難も行儀作法も敢て意としないので戀をしてるのですから、今更戀の旗を巻いて退却することは出来ないのです。どうかわたしに同情なすつて下さい。

アン おかアさん、どうぞわたしを、あのお馬鹿さんへ嫁入らせないでね。

ペー妻 わたし、もとより、もつと良い御亭主をお前にと思つてゐるのよ。

クイク とおつしやるのは、手前の主人のお医者さんでございませう。

アン あゝ、いやだ！ わたしいつそのこと土の中へ生埋めにされて、死んぢまふまで蕪菁で以て撲ちのめされたはうがいゝわ！（と泣き出す）

ペー妻 これさ、そんなに氣をお揉みでない。……フエントンさん、わたしはあなたの身方でも敵でもないのよ。いづれ吾女の心を聞いて見ませう。わたしは彼女次第ですの。ま、それまでは、さやうならね。宅のが待つてますから、彼女をつれていかないと、怒られますから。

フェン さやうなら、奥さん。さやうなら、アンちゃん。

ページ 母子入る。

クイク これがわたしの働きのなですよ。わたし申しましたの「あんな大事のお子さんを阿呆やお医者にくれツちまふとおつしやるんですか？ フエントンさんをお忘れですか」ツてね。これがわたしの働きのなですよ。

フェン ありがたう。ねえ、此指輪を、どうかして今夜のうちに、アンちゃんにわたして下さい。さ、これはお前さんへのお禮。

クイク

(貨幣と指輪を受取つて) 御好運であらつしやいますやうに！ (フェントン入る)。
ほんとに親切なお方。あゝいふ親切な方の爲になら女が火水の中へだつて駆込むだらう。でも、どつちかといふと、宅の旦那にアンさんを持たせたいねえ。でなきやスレンダーさんに。でなきや、ほんとに、フェントンさんに持たせたいわね。つまり、三人のどの方にも出来るだけの事がしてあげたい。「さうします」とお約束をしたんだから、是非約束通りにしたいけれども、盛んづく(就中)フェントンの爲にね。あ、まだ、あの二人の奥さんの御用で、ジョン・フォールスタッフさまのそこへゆかなけりやならなかつた。わたし、ま、何てけだものだらう、つい忘れてゐてさ！
入る。

第五場 ガーター館の一室

フォールスタッフとバードルフと出る。

フォール くら、バードルフ！……

バードルフ こゝにゐます。

フォール

酒を五合ばかり持つて来い、焼麩麩を容れて。(バードルフ入る)。屠牛場から運び出す一車の廢れ物ちやあるまいし、籠の中へ入れられてテムズ河へ抛り込まれりや世話アねえ！ 此次ぎ悪戯をされるやうだと、奴ら俺の腦味噌を引ッこぬいて牛酪を附けて、犬へ年玉にくれてやりやアがるかも知れねえ。悪黨めら、まるで盲犬仔一腹十五疋をつくりを土左衛門にする料簡で、俺を鼻唄で河の中へ抛り込みやアがつた。(見物人に)ねえ、此圖體を見

りや解るだらう、俺はいざ沈没となると、随分速かなほうだからね。若し河底が地獄へ達いてゐたら、そのまゝズドーンだつたらう。いや、若し河岸ツぶちが浅瀬でなかつたならお駄佛だつたのだ……大嫌ひの水ぶくれてやつになるとこだつた。此上脹れたらどんな體裁になつたらう！ それこそ山のやうな死骸だつたらうて。

バードルフが酒を持って出る。

バード クイックリーの後家さんが來ました、あなたにお話があるツて。

フォル (盃を取つて) さ、早くテムズ河の水の中へ酒を注ぎ込んでくれ。下ツ肚が冷ツちまつた。まるで腎を冷すために雪の塊りを丸薬代りに呑込んで心持だ。

バード (奥へ向いて) 入つておいでなさい！

クイックリーの後家出る。

クイック はい、御免下さいませ。おゆるし遊ばして下さいませ。お早うさまでございませす。

フォル 此小盃はそつちへ持つてけ。おい、一升入りをいゝ鹽梅に燗をして來てくれ。

バード 鶏卵を入れますか？

フォル 何にもなしで。おれは蛋白なんか入れるのは嫌ひだ。(バードルフ入る。とクイックリーに) 何だい？

クイック はい、あの、フォードさんの奥さんのお使ひに參りましたんで。

フォル フォードの内儀さんだ！ いやもう、浅瀬は澤山だ。おれは浅瀬へ投げ込まれて、下ツ肚が浅瀬で一ぱいだ。

クイック ま、ほんとにお氣の毒さまな！ ですがね、あの方のせゐぢやございませんですよ。只今お召使ひを怒りつけていらつしやいますのでございませ

すの。つまり、あの人達がお吩咐を愚解(誤解)したのでございます。

フォル さういや、おれも愚解したんだ、馬鹿女のいゝ加減な約束を。

クイク さア、その事で奥さんが、それは〜御愁傷なさいましてね、ほんとにもう

見るもお痛はしいやうでございますのよ。御亭主が今朝小鳥狩りにお出

かけになりますので、どうぞもう一度、八時から九時までのところで、お出

で下さいますやうにとのお言傳でございます。御返事をすぐ承はつて來

いと申されました。きつとお入れ合せをなさいますでせうよ。

フォル ぢや、往くことにしよう。往くといつてくれ。それから男てものはどう

いふもんだかを考へろつて。とかく脆いもんだてことが分つたら、おれの

有りがたさが解るだらうつて。

クイク さう申しませう。

フォル さうしてくれ。九時と十時の間だな?

クイク 八時と九時の間でございます。

フィル むゝ。さ、歸んな。きつと往く。

クイク 御機嫌さまよろしう!

クイクリー入る。

フォル ブルックで男はどうしたか知らん。こゝに待つて、くれといつてよこした
つけが。 奴の金だけは好もしいて……(二方を見て) あ、やつて來た。

フォード出る。

フォード 御機嫌よう!

フォル や、ブルックさん……例のフォードの妻の一件を聞きに來たのかね?

フォード はい、全く、其事で伺ひました。

フォル ブルックさん、正直に話すがね、わたしは女が約束した通りの時間にやつて
いつたよ。

フォド うまく参りましたか？

フォル 至つて不様にね。

フォド へえ、どうして？ 女が變心でもしましたか？

フォル いや、さうぢやアないが、亭主の焼餅屋めが、鶉の目鷹の目で油断しない
でゐて、ちやうど抱擁して、接吻して、愛を主張し合つて、いはゞわれわれ
の喜劇の開場詞が終つたばかりの肝腎の性念場へ飛込んで來やアがつ
たんだ、すると其後から奴の亂心にかぶれた奴の仲間の暴漢どもが、間男
を家探しするといつて、どかくと入つて來た。

フォド え、あなたがそこにおいでなすつた時にですか？

フォル うん、そこにゐた時に。

フォド で、あなたを探してゐながら、目附け得なかつたのですね？

フォル お聞きなさい、かういふわけだ。實は、いゝ鹽梅に、ページの妻で女がや

つてきて、フォードがやつて來るて事を知らせたんだ。で其女の工夫とフォ

ードの妻の狼狽の結果、わしは洗濯籠へ押込まれた。

フォド 洗濯籠へ！

フォル いや、どうも洗濯籠へね！ きたねえシャツや女衾や短靴下や長靴下や脂肪
でにちやつく布巾なんかで俺を暗雲に詰込んだものだ。いや、臭いの何の
ツて、あんなたまらない臭氣を嗅されたことはなかつた。

フォド いつまでさうしておいでなすつたんです？

フォル ま、ブルックさん、お聞きなさい、わしが、あの女をあなたの爲に落さうとし
て、どんな目に逢つたかを。籠の中にさういふ風に押込められてゐると、
フォードの妻は下男二人を呼び出して、此よごれ物をダチエット・ミードへ持
つてけと命じたんだ。二人はすぐ籠をひツかついで出ようとする、と戸
口で焼餅やきの亭主野郎にぶツつかつた。其籠は何だと二度までたづね